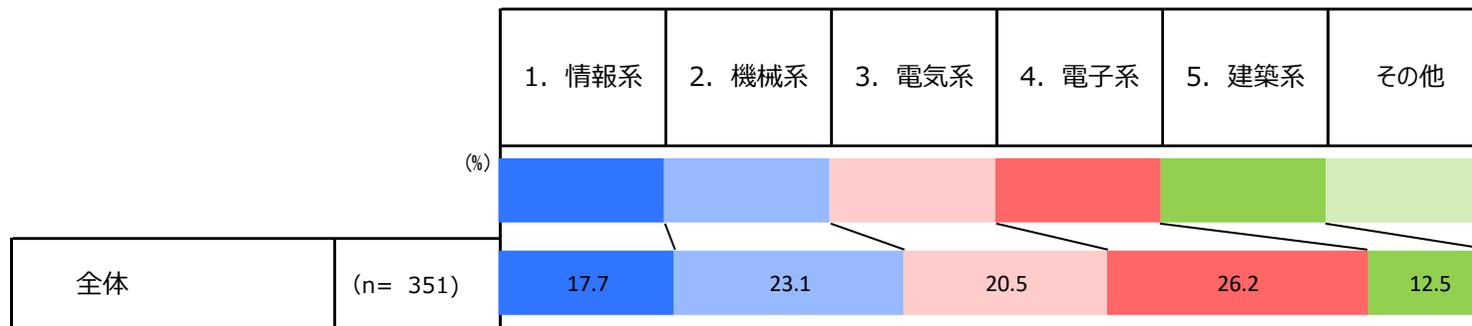


調査概要

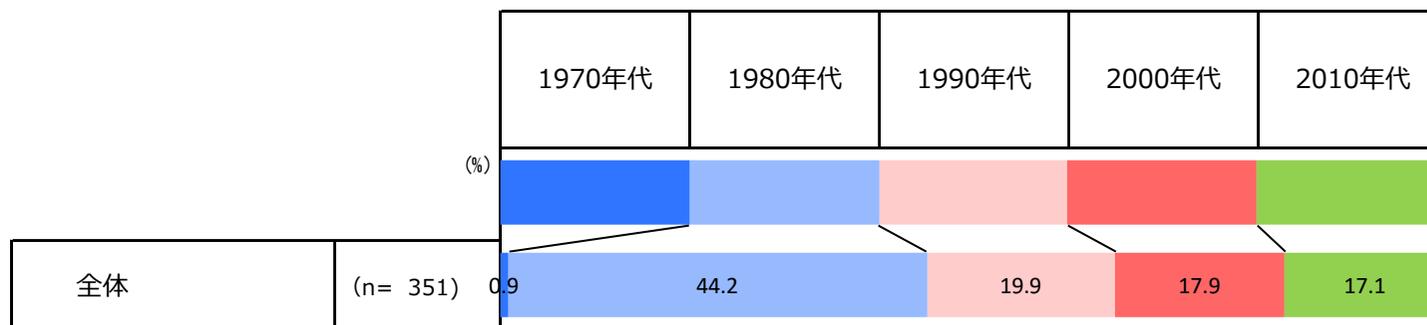
- 調査目的 : 学修成果の仕事への役立ち度や学修成果を高める学び方を把握する。
※各目的変数への説明変数の影響度を線形回帰分析により把握する。
- 調査方法 : ハガキにより調査告知・協力依頼を実施し、WEBでのアンケート画面で回答を得る。
- 実査期間 : 2023/12/26（ハガキ投函）～2024/2/4（2/5朝画面クローズ）
- 調査対象 : 釧路高専同窓会保有の会員データ（1985年3月から2013年3月卒業）
及び釧路高専保有の卒業生名簿（2014年3月から2016年3月卒業）から、約1,000名
（最大1,400名）の調査対象者を抽出し、調査依頼状（紙媒体）を発送し、Web方式で回収し、
集計・分析を行う。
<実際の調査対象>
高専保有データ442件、同窓会保有データ958件 計1400件（ランダム抽出）
うち宛先不明で返送された309件を除く 1091件
- 有効回答数 : 351名（有効回答率 32.2%）

回答者プロフィール

専門分野の系統 (全体/単一回答)

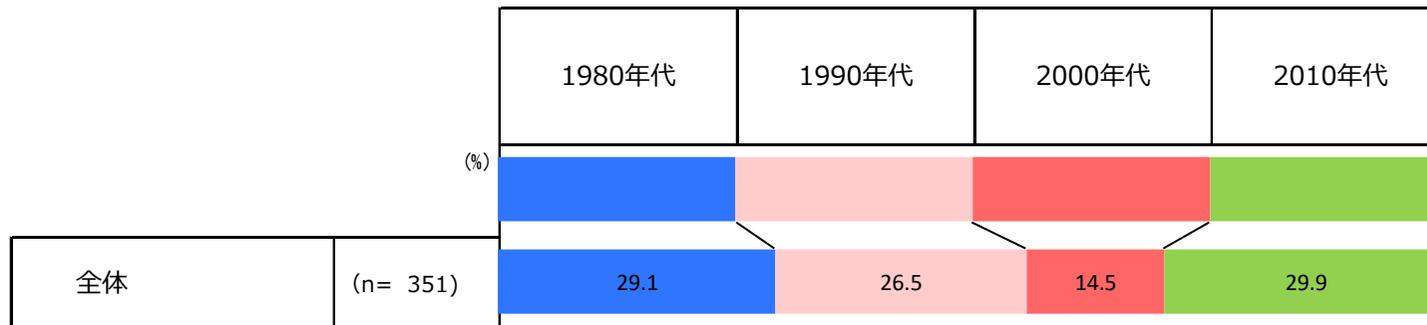


入学年代 (全体/単一回答)

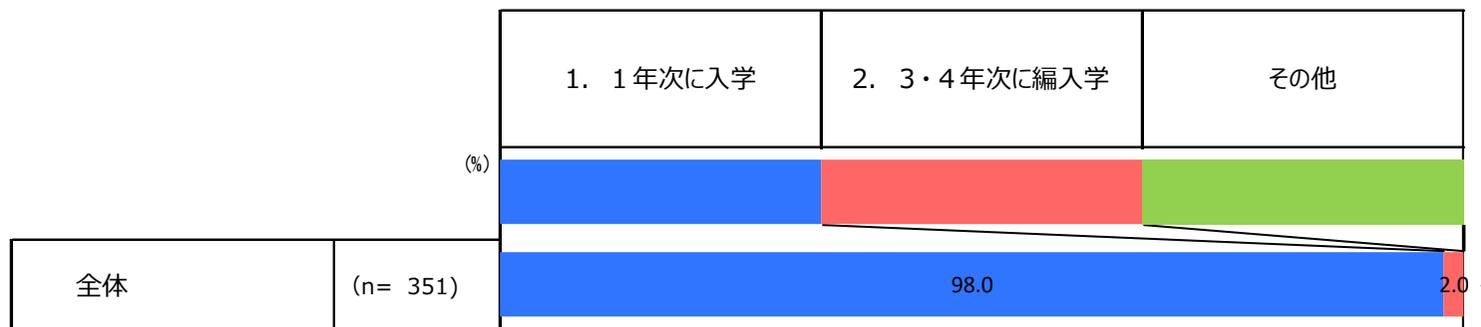


回答者プロフィール

卒業年代（全体／単一回答）

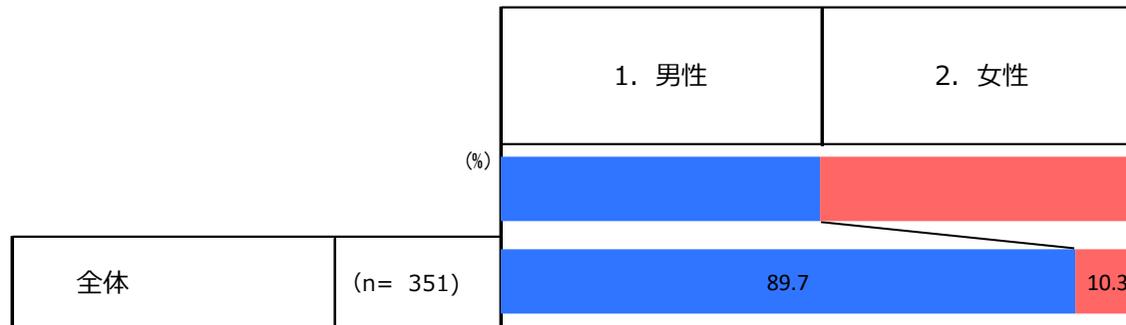


入学の形態（全体／単一回答）

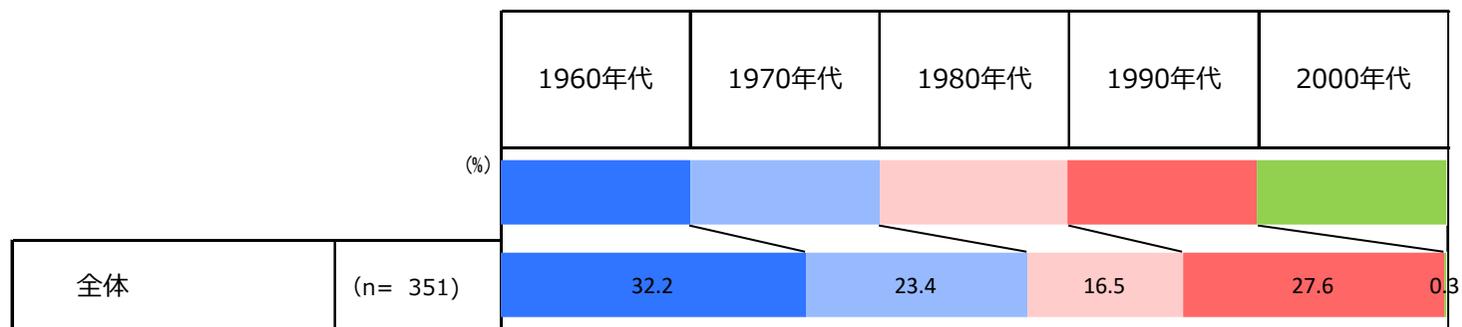


回答者プロフィール

性別（全体／単一回答）

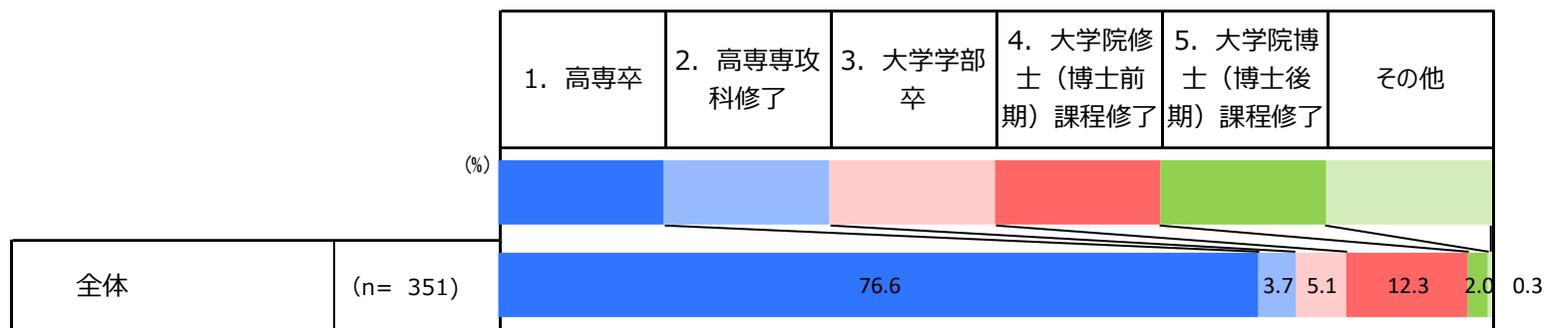


生年代（全体／単一回答）



回答者プロフィール

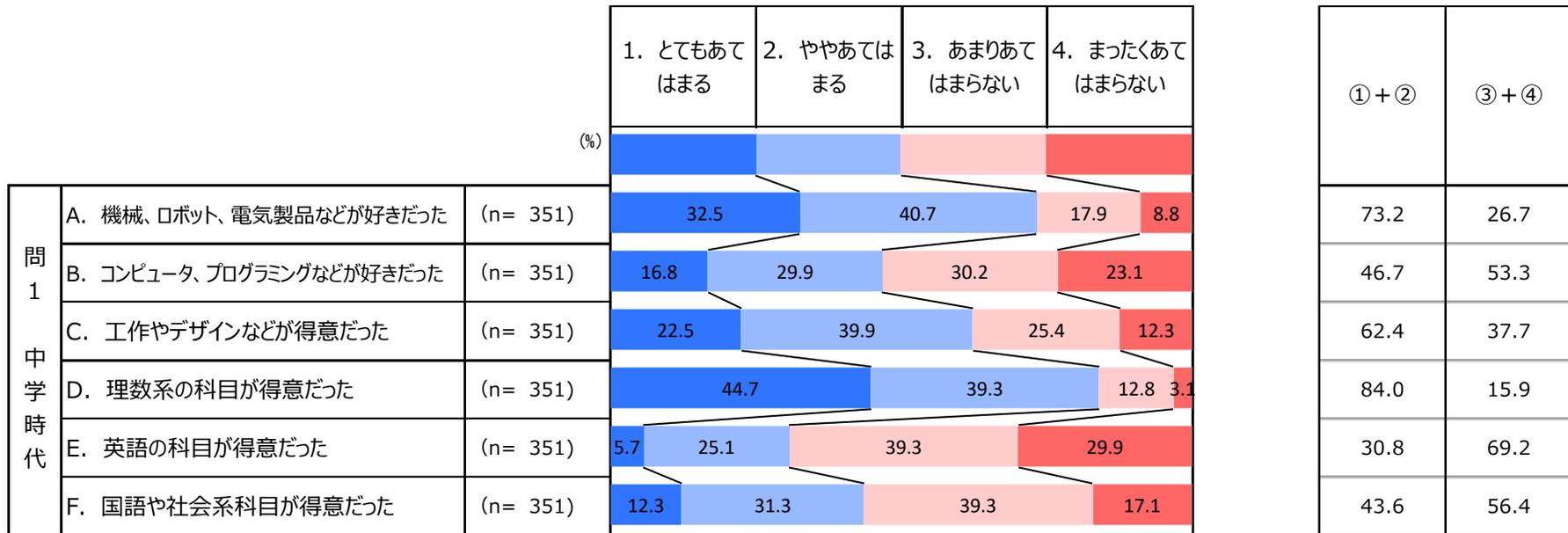
最終学歴（全体／単一回答）



問1. 中学時代

- ✓ あてはまる・計（とてもあてはまる+ややあてはまる）の割合をみると、「理科系の科目が得意だった」（84%）が最も高く、8割を超えている。
- ✓ これに「機械、ロボット、電気製品などが好きだった」（73%）、「工作やデザインなどが得意だった」（62%）と続く。
- ✓ 一方、「英語の科目が得意だった」は3割、「国語や社会系科目が得意だった」は4割程度に留まる。

問1. 中学時代（全体／単一回答）



問2. 受験決定理由

- ✓ あてはまる・計（とてもあてはまる+ややあてはまる）の割合をみると、「就職に有利だと思ったから」（85%）、「専門的知識を身につけられるから」（82%）、「技術に興味があったから」（同）が上位で、いずれも8割を超えている。
- ✓ 特に「就職に有利だと思ったから」はトップボックス（とてもあてはまる）が6割近い。
- ✓ これらに「高専の評判が良かったから」（64%）、「学費が安いから」（60%）が約6割で続く。

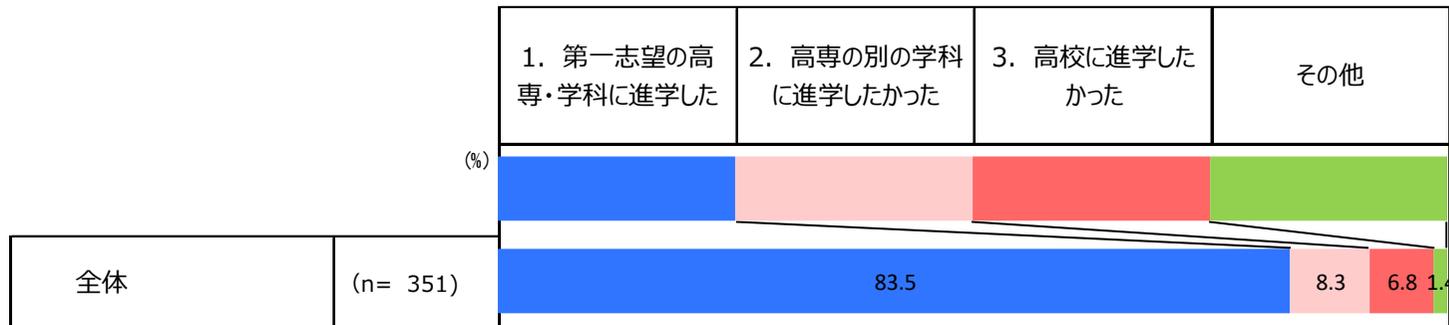
問2. 受験決定理由（全体／単一回答）

		1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない	①+②	③+④
		(%)					
問2 受験決定理由	A. 専門的知識を身につけられるから (n= 351)	39.0	43.3	12.8	4.8	82.3	17.6
	B. 技術に興味があったから (n= 351)	47.0	35.3	13.1	4.6	82.3	17.7
	C. 就職に有利だと思ったから (n= 351)	57.3	27.9	11.1	3.7	85.2	14.8
	D. 大学に編入学できるから (n= 351)	7.1	15.4	37.3	40.2	22.5	77.5
	E. 学費が安いから (n= 351)	22.8	37.0	26.8	13.4	59.8	40.2
	F. 高専の寮があったから (n= 351)	9.1	14.8	20.5	55.6	23.9	76.1
	G. 身近に高専出身者がいたから (n= 351)	13.4	15.1	16.0	55.6	28.5	71.6
	H. 高専の評判が良かったから (n= 351)	16.2	47.3	23.4	13.1	63.5	36.5
	I. 中学の先生に勧められたから (n= 351)	13.1	21.4	30.2	35.3	34.5	65.5
	J. 親に勧められたから (n= 351)	14.8	28.8	26.2	30.2	43.6	56.4

問3. 高専への進学は第一志望でしたか、それとも他の進路を志望していましたか。

- ✓ 「第一志望の高専・学科に進学した」(84%)が8割を超えている。
- ✓ これに「高専の別の学科に進学したかった」(8%)を合わせると、9割を超えている。

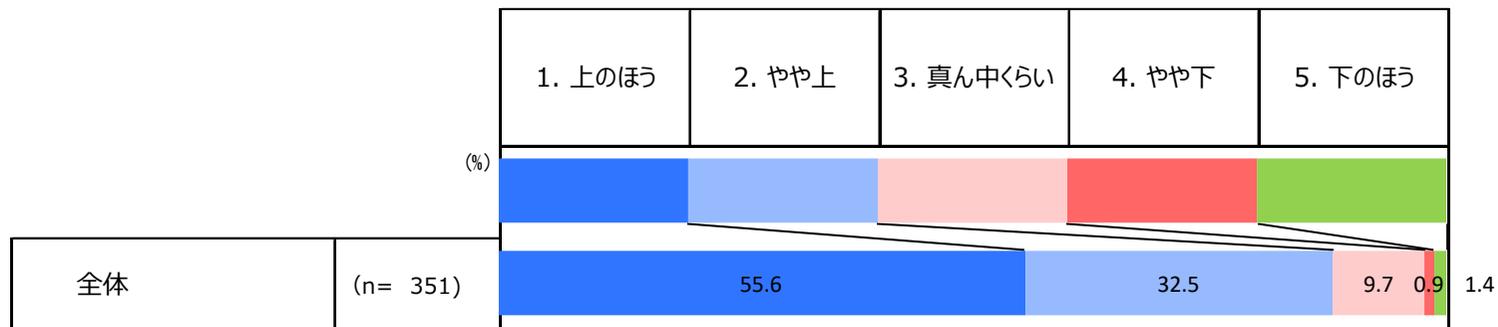
問3. 高専への進学は第一志望でしたか、それとも他の進路を志望していましたか。(全体/単一回答)



問4. あなたの中学3年時の成績は、中学校のクラスの中でどのあたりでしたか。

- ✓ 「上の方」が56%で、これに「やや上」(33%)を合わせると、9割となっている。

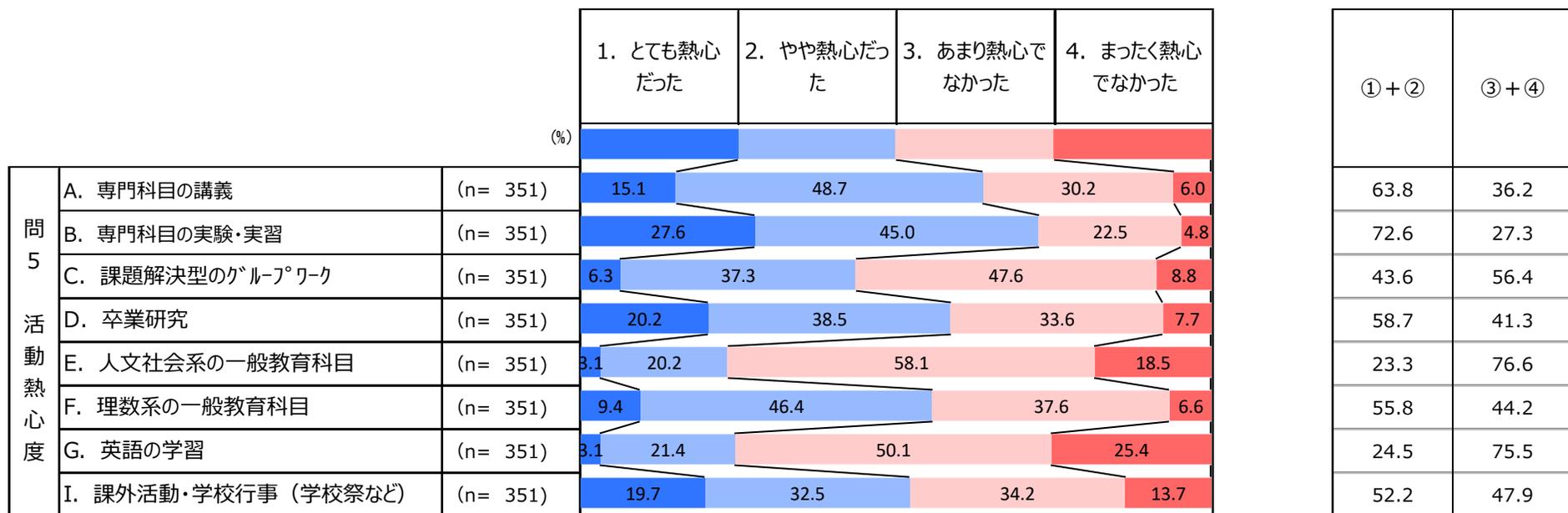
問4. あなたの中学3年時の成績は、中学校のクラスの中でどのあたりでしたか。(全体/単一回答)



問5. 活動熱心度

- ✓ 熱心だった・計（とても熱心だった+やや熱心だった）の割合をみると、専門科目に対する熱心度が高く、「専門科目の実験・実習」は73%、「専門科目の講義」は64%となっている。
- ✓ さらに、「卒業研究」（59%）、「理数系の一般教育科目」（56%）についても、6割近い者が熱心だったと回答した。
- ✓ 一方、「人文社会系の一般教育科目」「英語の学習」では、熱心だったと回答した者は2割程度に留まっている。

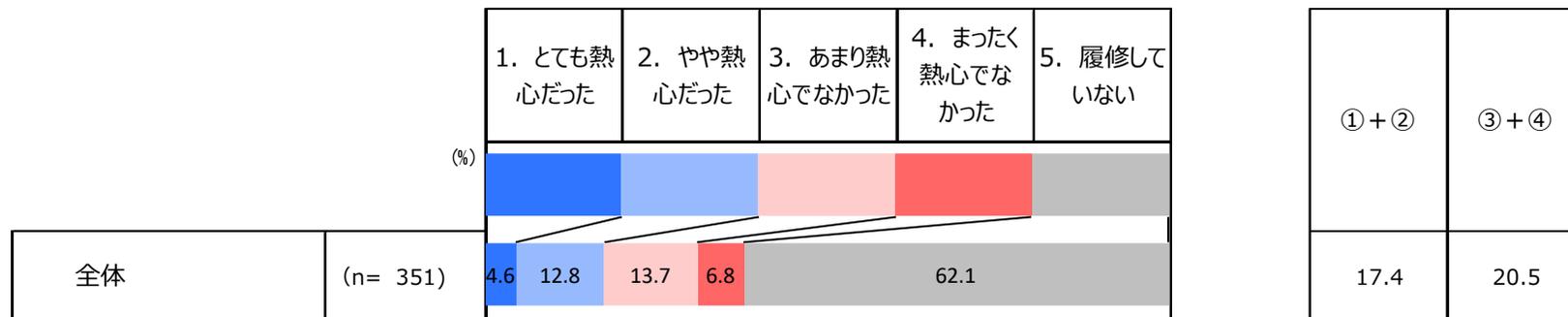
問5. 活動熱心度（全体／単一回答）



問5. 活動熱心度：H. 学外実習（インターンシップ）

- ✓ 履修した者は38%で、履修した者では、熱心だった者、熱心でなかった者にほぼ二分している。

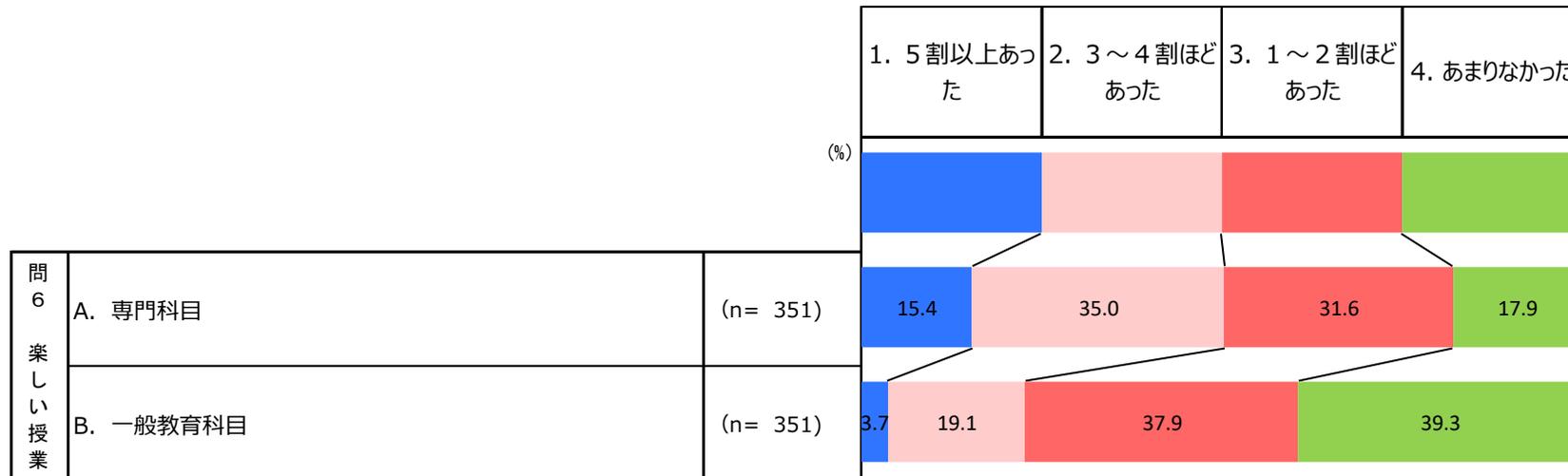
問5. 活動熱心度：H. 学外実習（インターンシップ）（全体／単一回答）



問6. 楽しい授業

- ✓ 専門科目の方が楽しい授業があった割合が高く、「5割以上あった」(15%)に「3~4割ほどあった」(35%)を合わせると5割となっている。
- ✓ 一般教育科目については、「あまりなかった」が4割となっている。

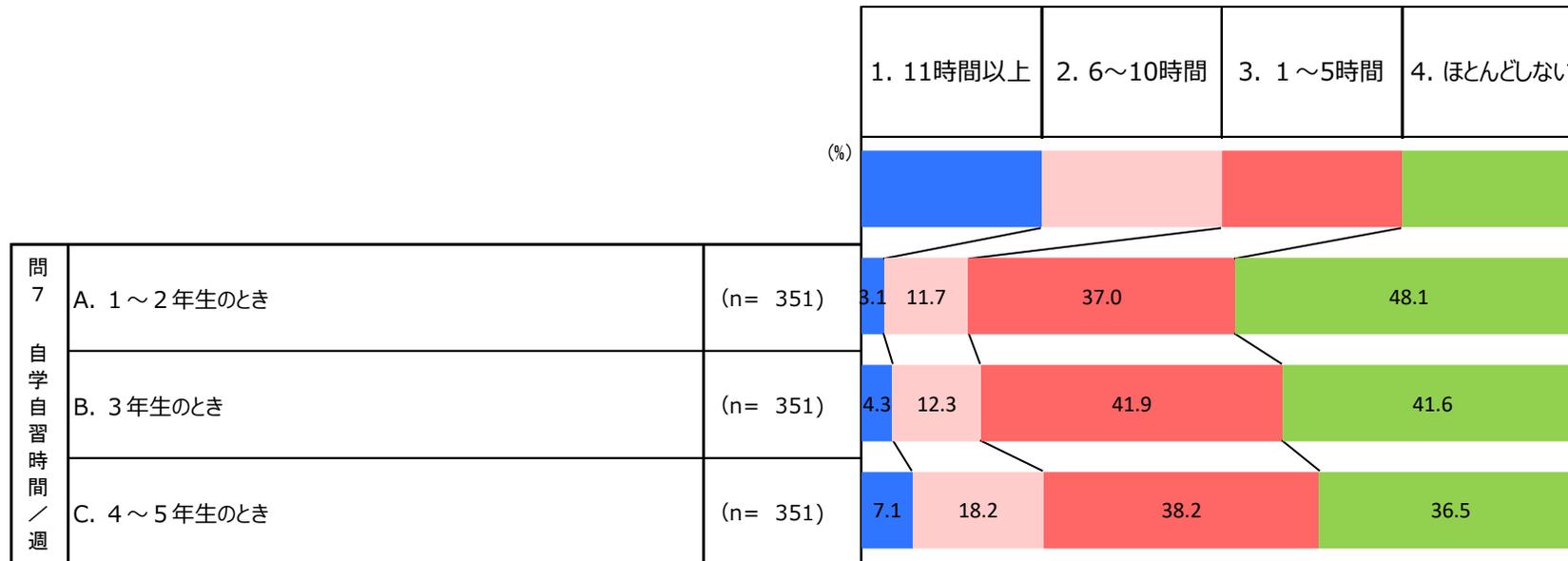
問6. 楽しい授業 (全体/単一回答)



問7. 自学自習時間／週

- ✓ 学年が上がるほど、自学自習時間が多くなっており、1～2年生のときでは「ほとんどしない」が約半数だが、4～5年生のときでは、4人に1人が6時間以上と回答している。

問7. 自学自習時間／週（全体／単一回答）



問8. 成績

- ✓ いずれの学年でも4割以上の者が自身では上（上の方+やや上）と回答している。

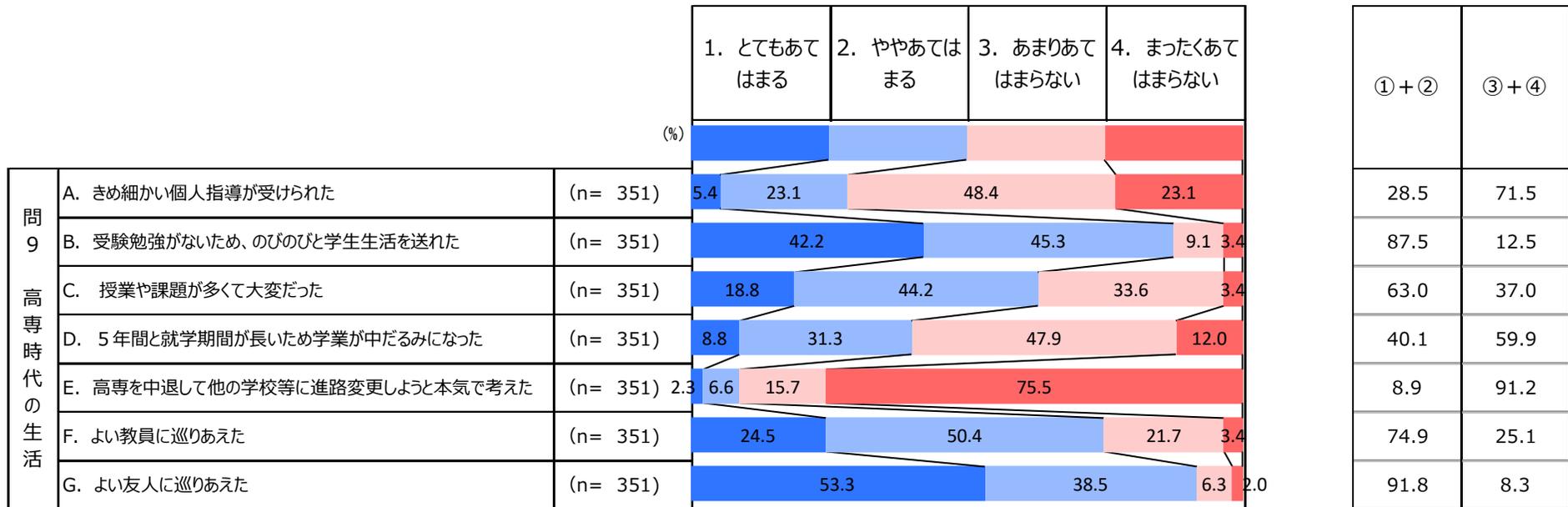
問8. 成績（全体／単一回答）

			1. 上のほう	2. やや上	3. 真ん中くらい	4. やや下	5. 下のほう
			(%)				
問 8 成 績	A. 1～2年生のとき	(n= 351)	23.9	23.1	29.1	9.7	14.2
	B. 3年生のとき	(n= 351)	24.2	19.4	28.8	13.1	14.5
	C. 4～5年生のとき	(n= 351)	25.9	21.9	23.6	12.0	16.5

問9. 高専時代の生活

- ✓ あてはまる・計（とてもあてはまる+ややあてはまる）の割合をみると、「よい友人に巡りあえた」（92%）、「受験勉強がないため、のびのびと学生生活を送れた」（88%）が9割前後と高い。
- ✓ これらに「よい教員に巡りあえた」（75%）、「授業や課題が多くて大変だった」（63%）が続く。

問9. 高専時代の生活（全体／単一回答）



問10-1. 高専卒業時の修得度

- ✓ 身についた・計（Top2）の割合をみると、「所属した学科に関する専門的知識」が72%と最も高く、以下「幅広い工学の基礎知識」（66%）、「論理的に考え抜く力」（64%）と続く。
- ✓ 一方、「日本語や英語によるコミュニケーション力」（21%）、「地域や社会の問題の本質を分析する力」（25%）は2割台に留まる。

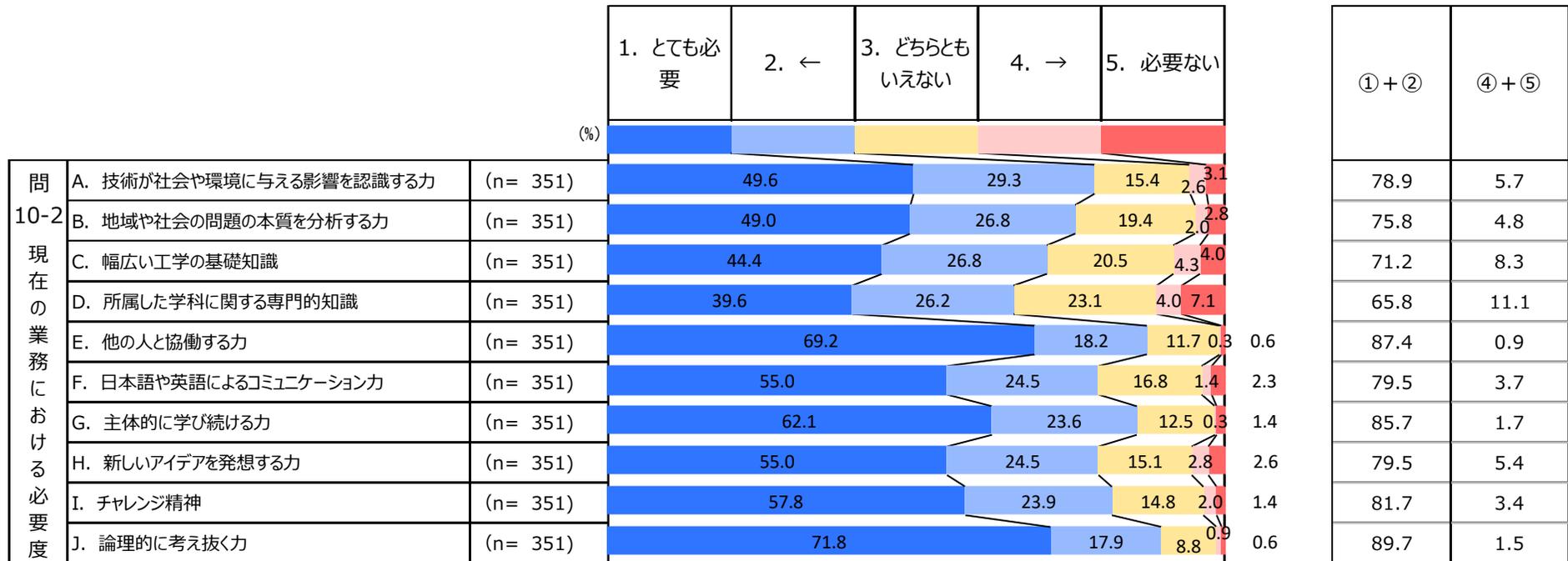
問10-1. 高専卒業時の修得度（全体／単一回答）

			1. とても身についた	2. ←	3. どちらともいえない	4. →	5. まったく身につかなかった	①+②	④+⑤
			(%)						
問10-1 高専卒業時の修得度	A. 技術が社会や環境に与える影響を認識する力	(n= 351)	20.8	28.5	37.0	5.7	8.0	49.3	13.7
	B. 地域や社会の問題の本質を分析する力	(n= 351)	10.3	15.1	49.6	11.4	13.7	25.4	25.1
	C. 幅広い工学の基礎知識	(n= 351)	30.8	35.6	26.8	3.1	3.7	66.4	6.8
	D. 所属した学科に関する専門的知識	(n= 351)	31.9	39.6	22.5	2.6	3.4	71.5	6.0
	E. 他の人と協働する力	(n= 351)	21.4	26.5	39.9	6.8	5.4	47.9	12.2
	F. 日本語や英語によるコミュニケーション力	(n= 351)	7.7	13.1	42.7	18.5	17.9	20.8	36.4
	G. 主体的に学び続ける力	(n= 351)	18.2	27.1	38.5	9.1	7.1	45.3	16.2
	H. 新しいアイデアを発想する力	(n= 351)	16.2	25.4	44.4	7.7	6.3	41.6	14.0
	I. チャレンジ精神	(n= 351)	20.2	26.5	40.5	6.6	6.3	46.7	12.9
	J. 論理的に考え抜く力	(n= 351)	30.5	33.9	27.4	4.3	4.0	64.4	8.3

アンケート集計 問10-2. 現在の業務における必要度

- ✓ 必要・計 (Top2) の割合をみると、「論理的に考え抜く力」が90%と最も高く、以下「他の人と協働する力」(87%)、「主体的に学び続ける力」(86%)が続き、社会人基礎力の必要度が上位に挙げられている。
- ✓ ただし、その他の要素でも軒並み必要度は高い。

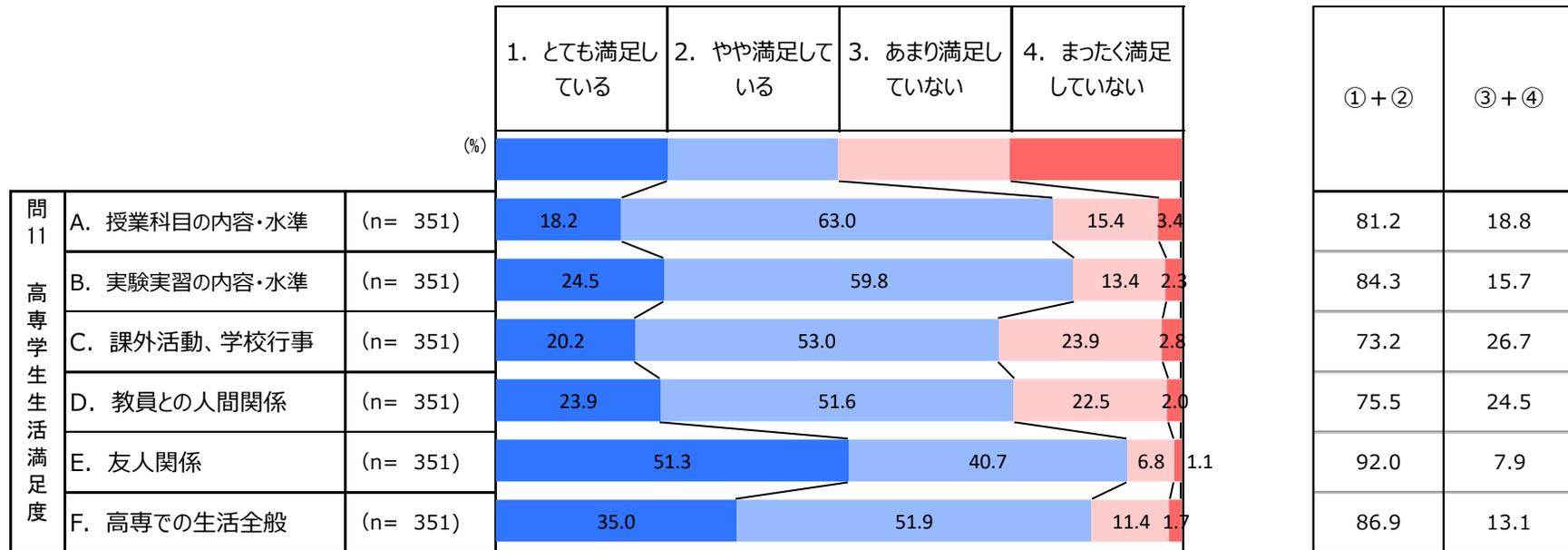
問10-2. 現在の業務における必要度 (全体/単一回答)



アンケート集計 問11. 高専学生生活満足度

- ✓ 個別要素の満足度（とても満足している+やや満足している）をみると、「友人関係」が92%と最も高く、以下「実験実習の内容・水準」（84%）、「授業科目の内容・水準」（81%）と続く。
- ✓ また、「高専での生活全般」の満足度は87%であった。

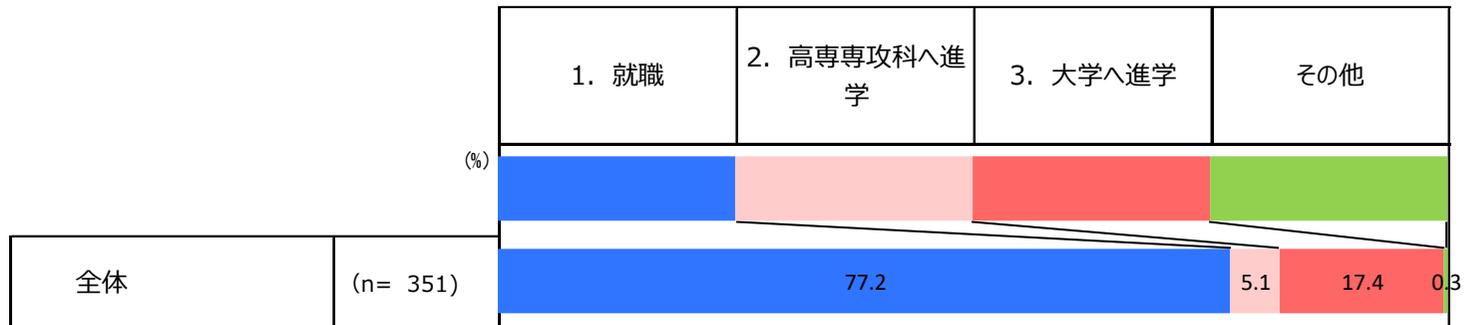
問11. 高専学生生活満足度（全体／単一回答）



アンケート集計 問12. 高専卒業後の進路について

- ✓ 「就職」が77%と圧倒的に多い。これに「大学への進学」が17%で続く。

問12. 高専卒業後の進路について選択してください。(全体/単一回答)



問13. 高専専攻科または大学への進学理由

- ✓ あてはまる・計（とてもあてはまる+ややあてはまる）の割合をみると、「就職後のキャリアを有利にするため」が84%と最も高く、以下「高専時代と同じ分野の高度な専門知識を身につけたかったから」（72%）、「幅広い教養を身につけたかったから」（68%）と続く。

問13. 高専専攻科または大学への進学理由（高専専攻科または大学へ進学した者／単一回答）

			1. とてもあてはまる	2. ややあてはまる	3. あまりあてはまらない	4. まったくあてはまらない	①+②	③+④
			(%)					
問13 高専専攻科または大学への進学理由	A. 高専時代と同じ分野の高度な専門知識を身につけたかったから	(n= 79)	30.4	41.8	21.5	6.3	72.2	27.8
	B. 高専時代の分野とは異なる専門知識を身につけたかったから	(n= 79)	17.7	31.6	34.2	16.5	49.3	50.7
	C. 幅広い教養を身につけたかったから	(n= 79)	27.8	40.5	25.3	6.3	68.3	31.6
	D. 大学院に進学するため	(n= 79)	20.3	30.4	25.3	24.1	50.7	49.4
	E. 就職後のキャリアを有利にするため	(n= 79)	46.8	36.7	11.4	5.1	83.5	16.5
	F. 高専の教員に勧められたから	(n= 79)	11.4	22.8	34.2	31.6	34.2	65.8
	G. 親に勧められたから	(n= 79)	8.9	15.2	30.4	45.6	24.1	76.0
	H. 高専時代の成績が良かったから	(n= 79)	25.3	34.2	22.8	17.7	59.5	40.5

問14. 専攻科在学時自学自習時間／週

- ✓ サンプル数が少ないため参考値に留めるが、いずれの学年でも「ほとんどしない」は3割強となっている。
- ✓ 自学自習を行った者では、専攻科1年生は「6～10時間」「1～5時間」が同率で多く、専攻科2年生では「1～5時間」が多い傾向がみられる。

問14. 専攻科在学時自学自習時間／週（高専専攻科へ進学した者／単一回答）

			1. 11 時間以上	2. 6～10 時間	3. 1～5 時間	4. ほとんどしない
			(%)			
問 14 専 攻 科 在 学 時 自 学 自 習 時 間 ／ 週	A. 専攻科1 年生のとき	(n= 18)	11.1	27.8	27.8	33.3
	B. 専攻科2 年生のとき	(n= 18)	16.7	16.7	33.3	33.3

問15. 専攻科学生生活満足度

- ✓ サンプル数が少ないため参考値だが、個別要素の満足度（とても満足している+やや満足している）は、「友人関係」「授業科目の内容・水準」がともに8割強と高い。
- ✓ また、「高専での生活全般」の満足度は78%であった。

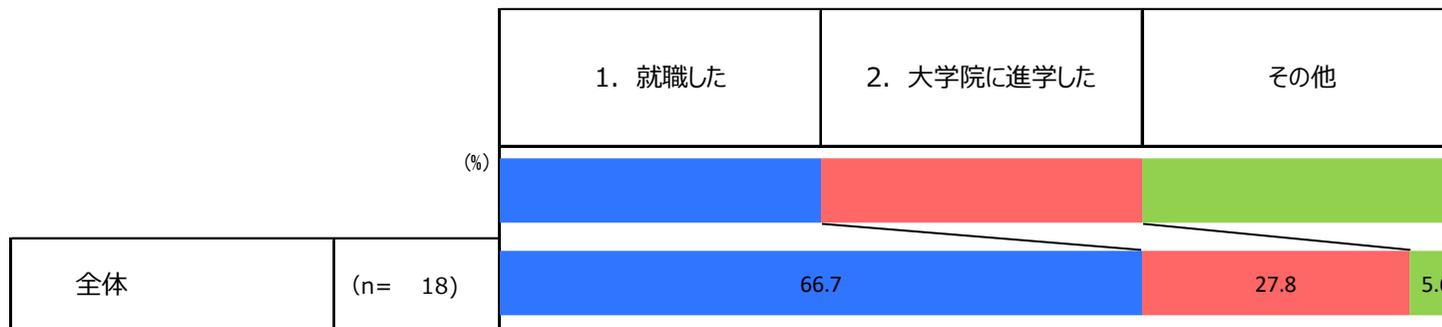
問15. 専攻科学生生活満足度（高専専攻科へ進学した者／単一回答）

			1. とても満足している	2. やや満足している	3. あまり満足していない	4. まったく満足していない	①+②	③+④
			(%)					
問15 専攻科 学生 生活 満足 度	A. 授業科目の内容・水準	(n= 18)	22.2	61.1	5.6	11.1	83.3	16.7
	B. 学会などでの研究発表	(n= 18)	27.8	44.4	16.7	11.1	72.2	27.8
	C. 学外実習（インターンシップ）	(n= 18)	33.3	33.3	16.7	16.7	66.6	33.4
	D. 教員との人間関係	(n= 18)	38.9	27.8	27.8	5.6	66.7	33.4
	E. 友人関係	(n= 18)	61.1	22.2	16.7		83.3	16.7
	F. 高専専攻科での生活全般	(n= 18)	44.4	33.3	11.1	11.1	77.7	22.2

問16. 高専専攻科修了時の進路について

- ✓ サンプル数が少ないため参考値に留めるが、「就職した」が7割弱と多い。

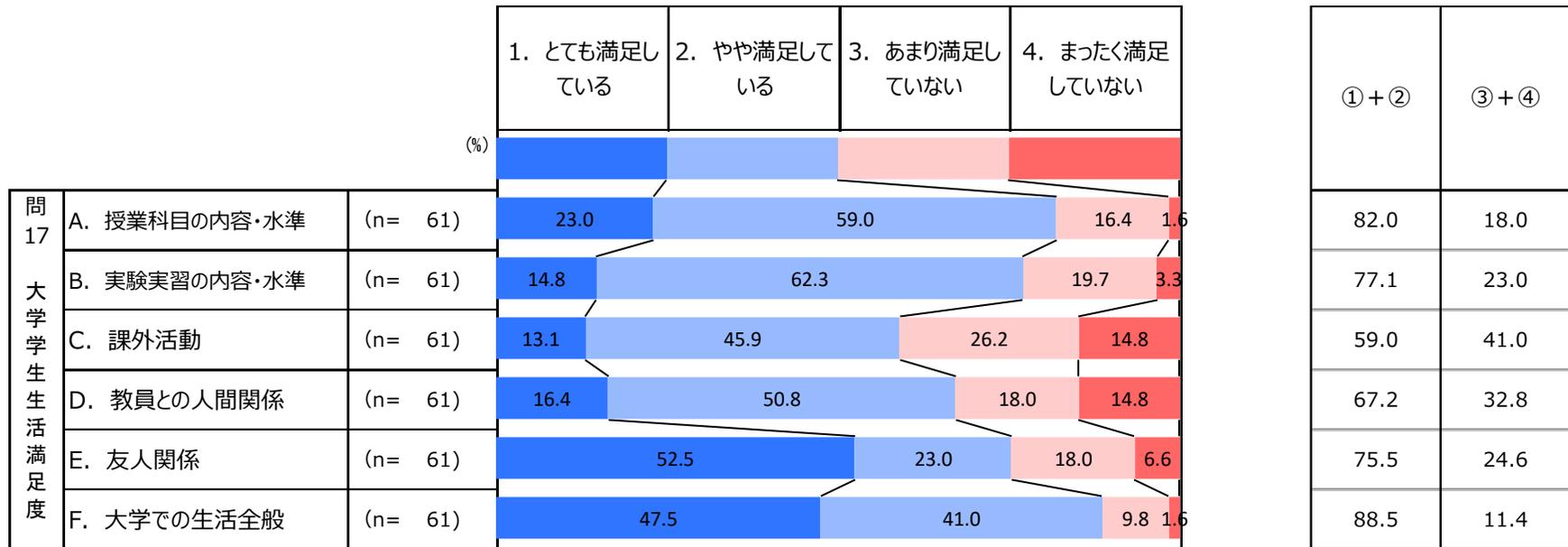
問16. 高専専攻科修了時の進路について選択してください（高専専攻科へ進学した者／単一回答）



問17. 大学学生生活満足度

- ✓ 個別要素の満足度（とても満足している+やや満足している）をみると、「授業科目の内容・水準」が82%と最も高く、以下「実験実習の内容・水準」（77%）、「友人関係」（76%）と続く。
- ✓ また、「大学での生活全般」の満足度は89%であった。

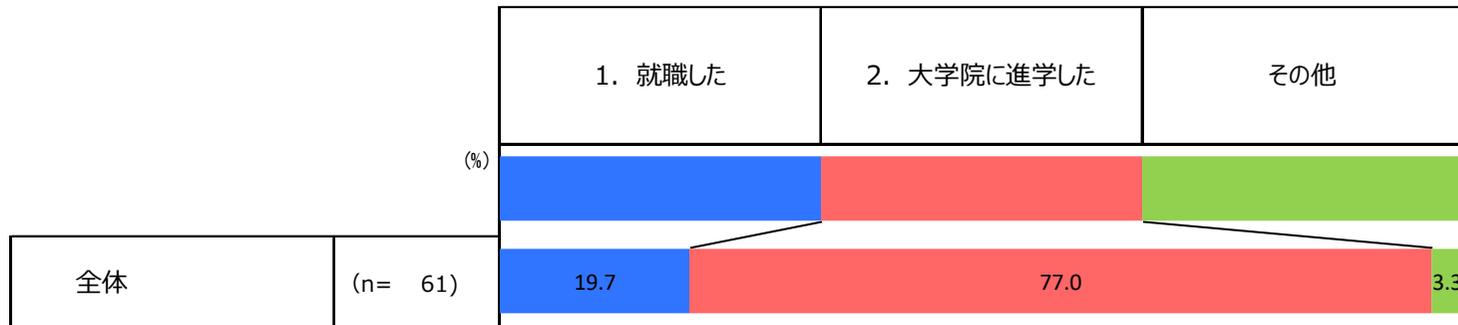
問17. 大学学生生活満足度（大学へ進学した者／単一回答）



問18. 大学（学部）卒業時の進路について

- ✓ 「大学院に進学した」が77%と多い。

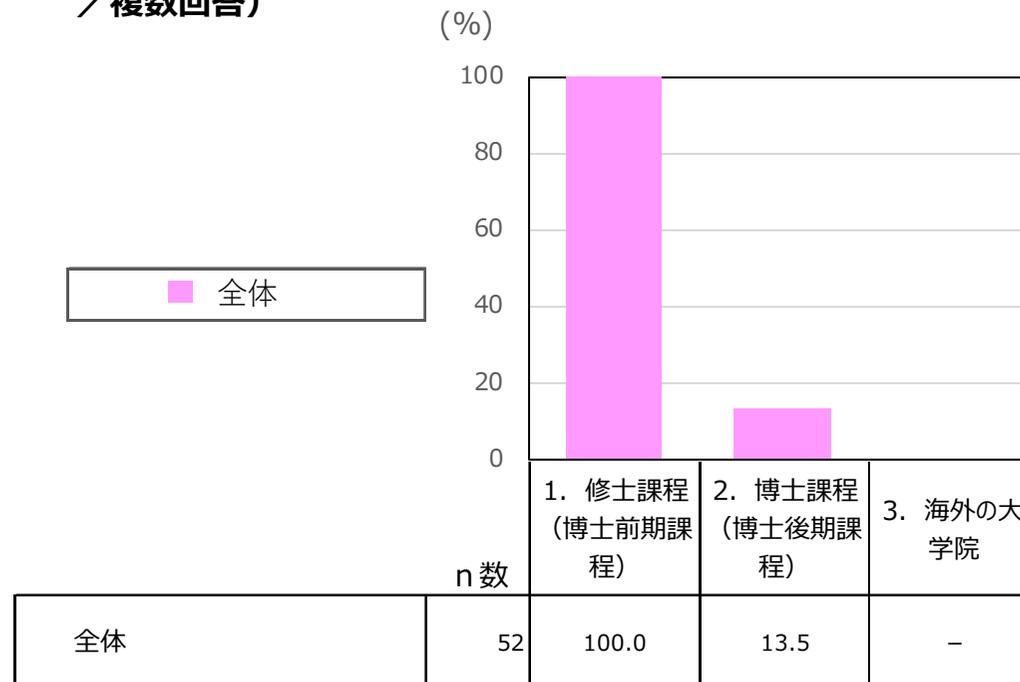
問18. 大学（学部）卒業時の進路について、選択してください。（大学へ進学した者／単一回答）



問19. 在学した大学院の課程

- ✓ 「博士課程」は14%となっている。

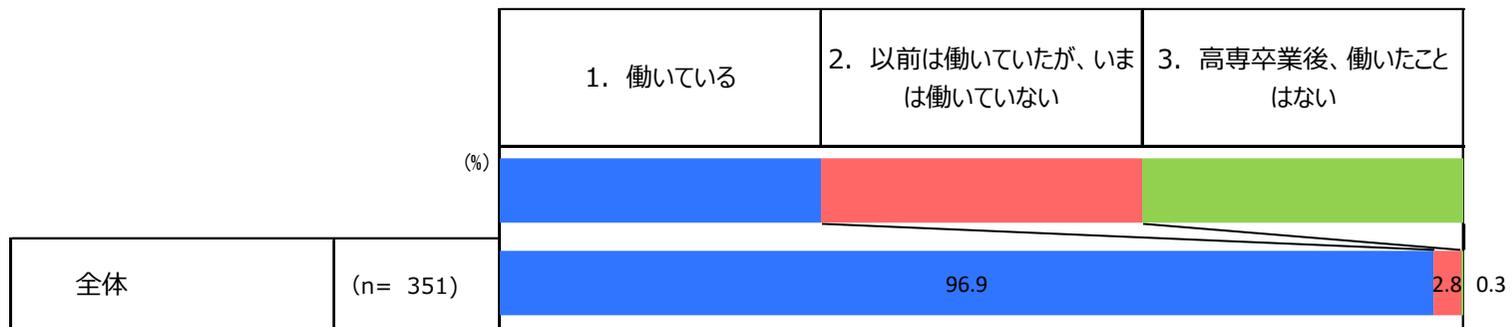
問19. あなたが在学した大学院の課程は次のどれですか（在学したものすべて）（高専専攻科または大学卒業後、大学院へ進学した者／複数回答）



問20. あなたは現在、働いていますか。

- ✓ ほぼ全員（97%）が現在「働いている」と回答した。

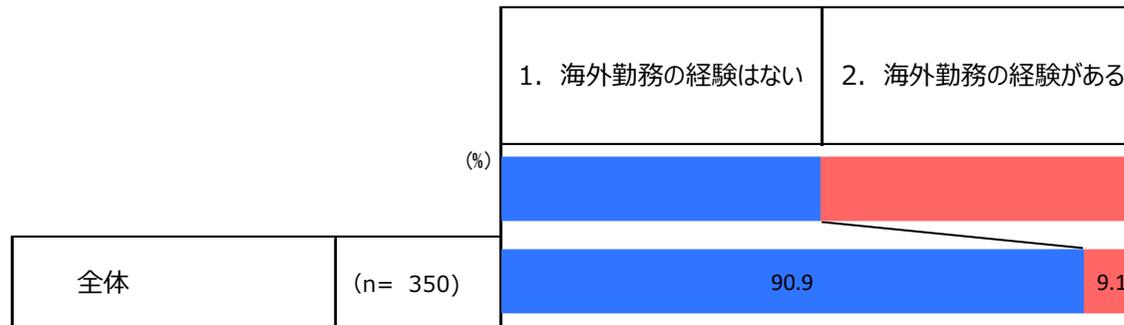
問20. あなたは現在、働いていますか。（全体／単一回答）



問21 . あなたはこれまでに、海外での勤務の経験はありますか。

- ✓ 海外での勤務経験がある者は約1割となっている。

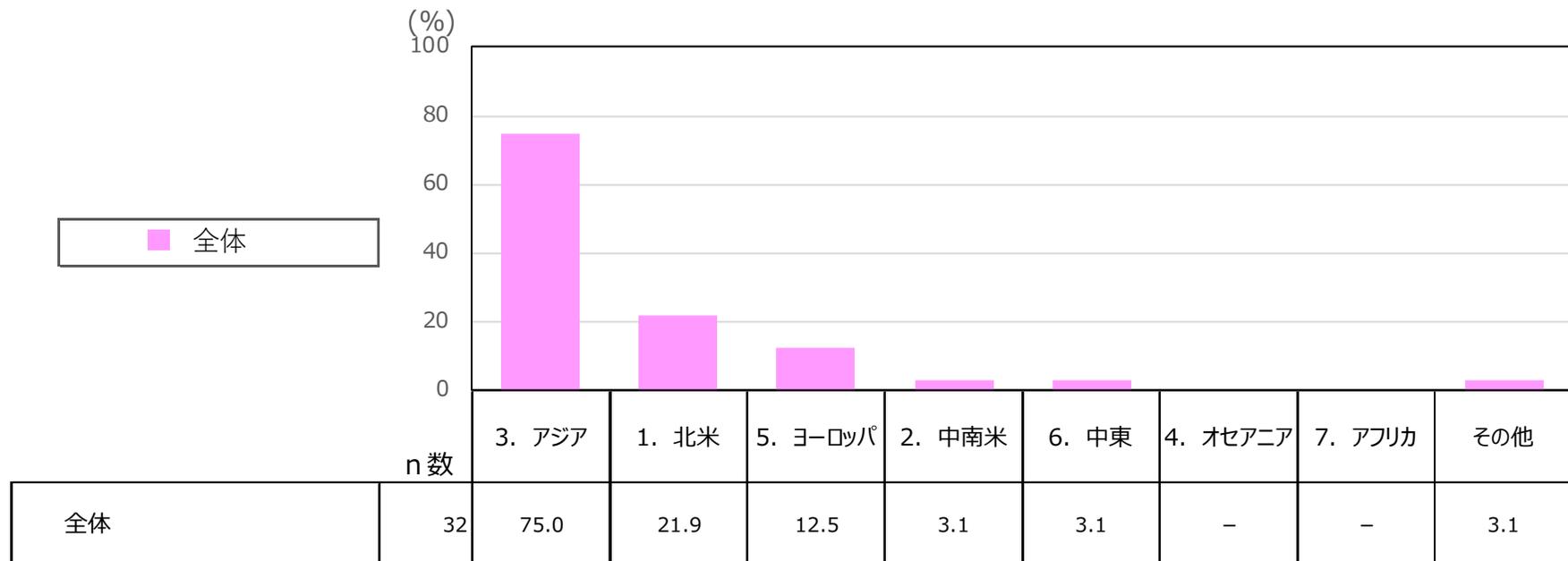
問21 . あなたはこれまでに、海外での勤務の経験はありますか。 (現在就業中または就業経験がある者 / 単一回答)



問21-2. 海外勤務の滞在地域

- ✓ 滞在地域は「アジア」が75%とやや突出して高い。
- ✓ これに「北米」(22%)、「ヨーロッパ」(13%)が続く。

問21-2. 海外勤務の滞在地域（海外勤務の経験がある者／複数回答）

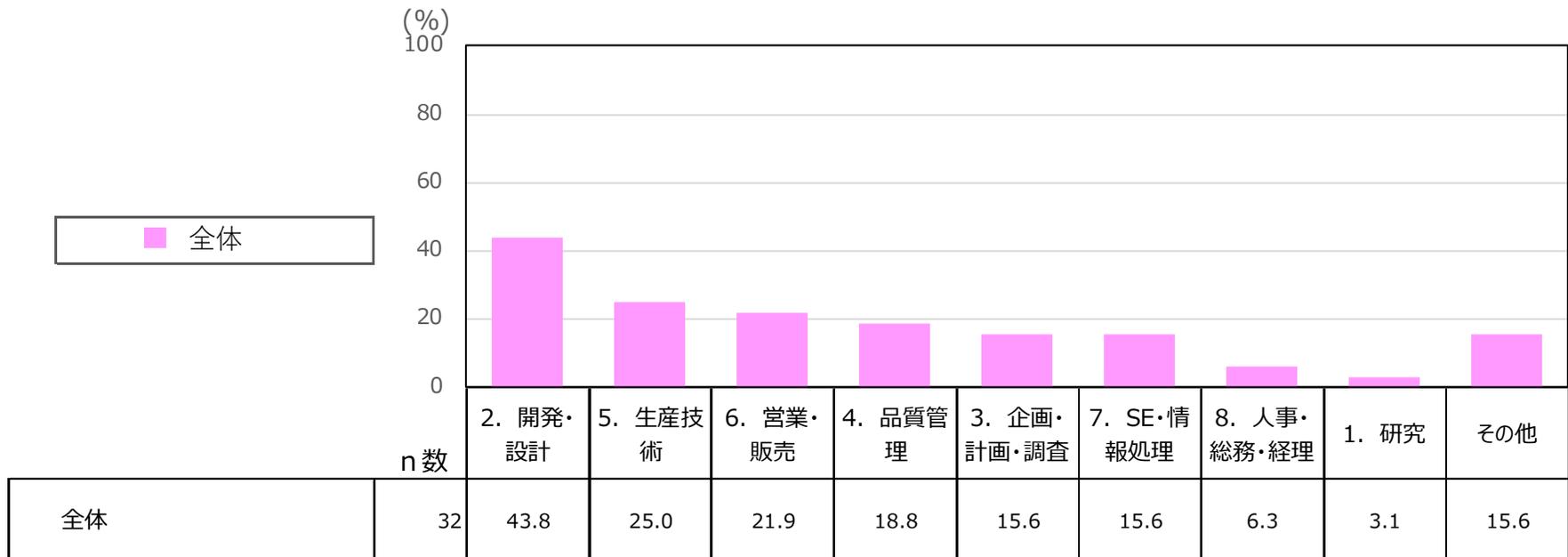


※回答の多い順にソート（「その他」除く）

問21-4. 海外勤務の職務

- ✓ 「開発・設計」が44%と最も高く、これに「生産技術」（25%）、「営業・販売」（22%）と続く。

問21-4. 海外勤務の職務（海外勤務の経験がある者／複数回答）

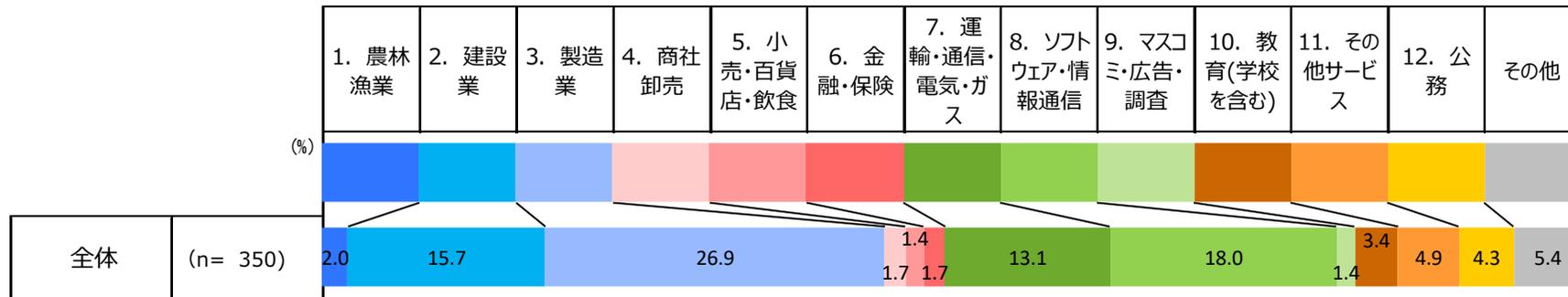


※回答の多い順にソート（「その他」除く）

問22-1. 業種

- ✓ 業種については「製造業」が27%と最も高く、以下「ソフトウェア・情報通信」（18%）、「建設業」（16%）、「運輸・通信・電気・ガス」（13%）と続く。

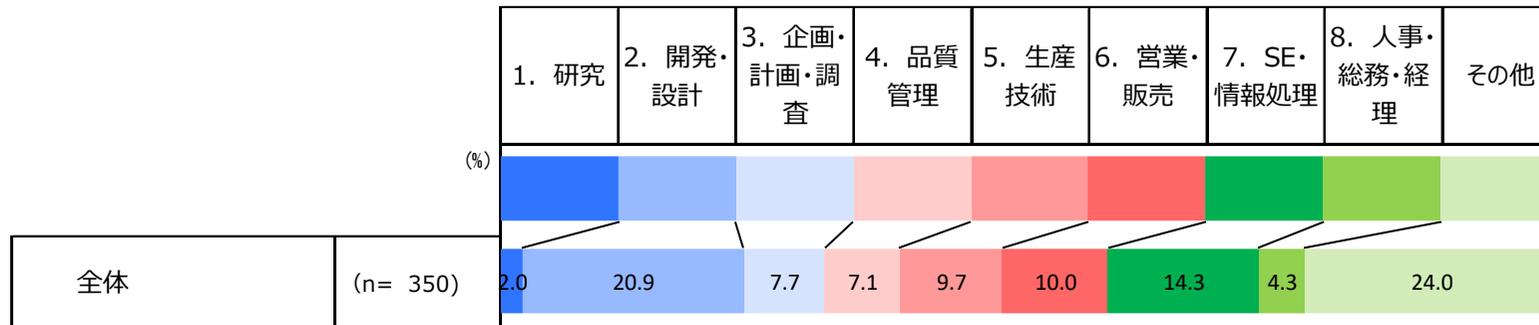
問22-1. 業種（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問22-2. 職種

- ✓ 具体的な職種では「開発・設計」が21%と最も高く、ついで「SE・情報処理」（14%）となっている。

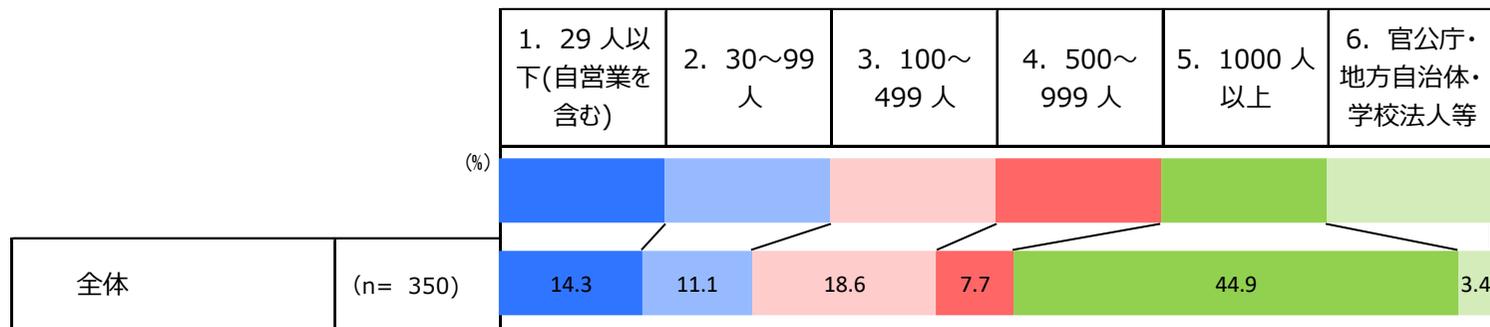
問22-2. 職種（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問22-3. 企業規模(常勤の従業者数)

- ✓ 「1000人以上」の大手企業勤務者が45%を占めている。

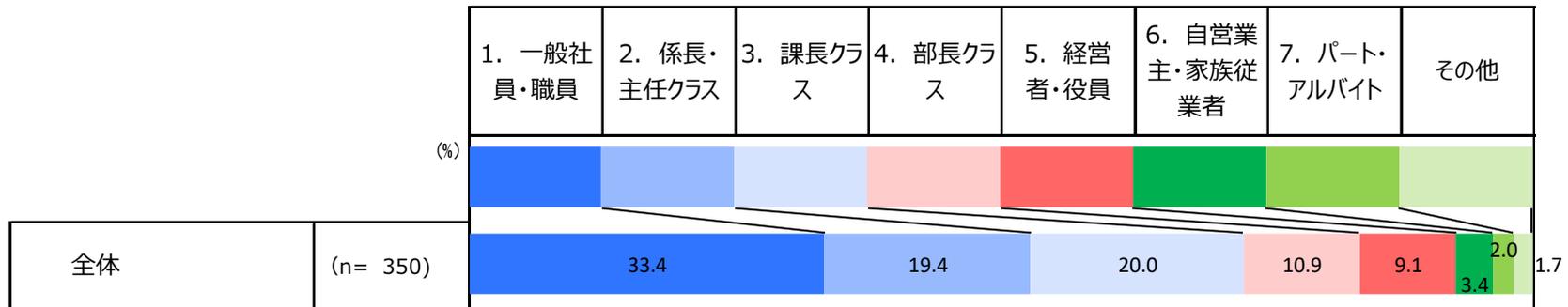
問22-3. 企業規模(常勤の従業者数) (現在就業中または就業経験がある者/単一回答)



問22-4. 職位・勤務形態

- ✓ 3人に2人が役職があると回答した。

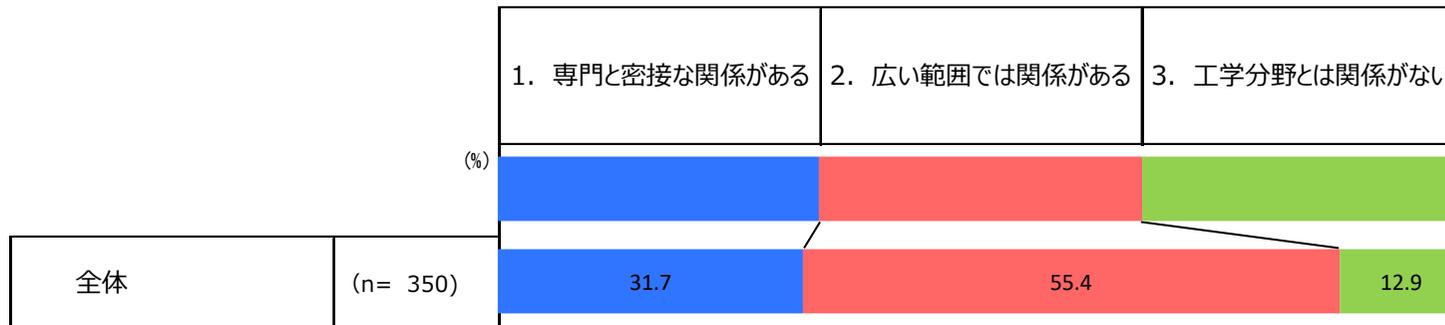
問22-4. 職位・勤務形態（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問22-5. 現在の仕事の内容と学校（最終学歴）での専門との関係

- ✓ 「広い範囲では関係がある」が55%、「専門と密接な関係がある」が32%と、工学分野と関係があると回答した者が9割近い。

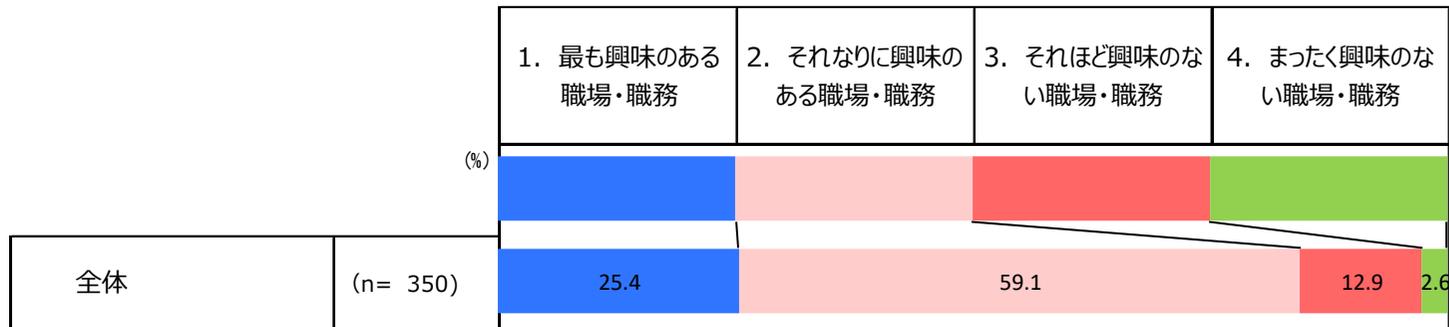
問22-5. 現在の仕事の内容と学校（最終学歴）での専門との関係 （現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問22-6. 現在の職場・職務について

- ✓ 「最も興味のある職場・職務」は25%で、これに「それなりに興味のある職場・職務」（59%）を合わせると8割を超えている。

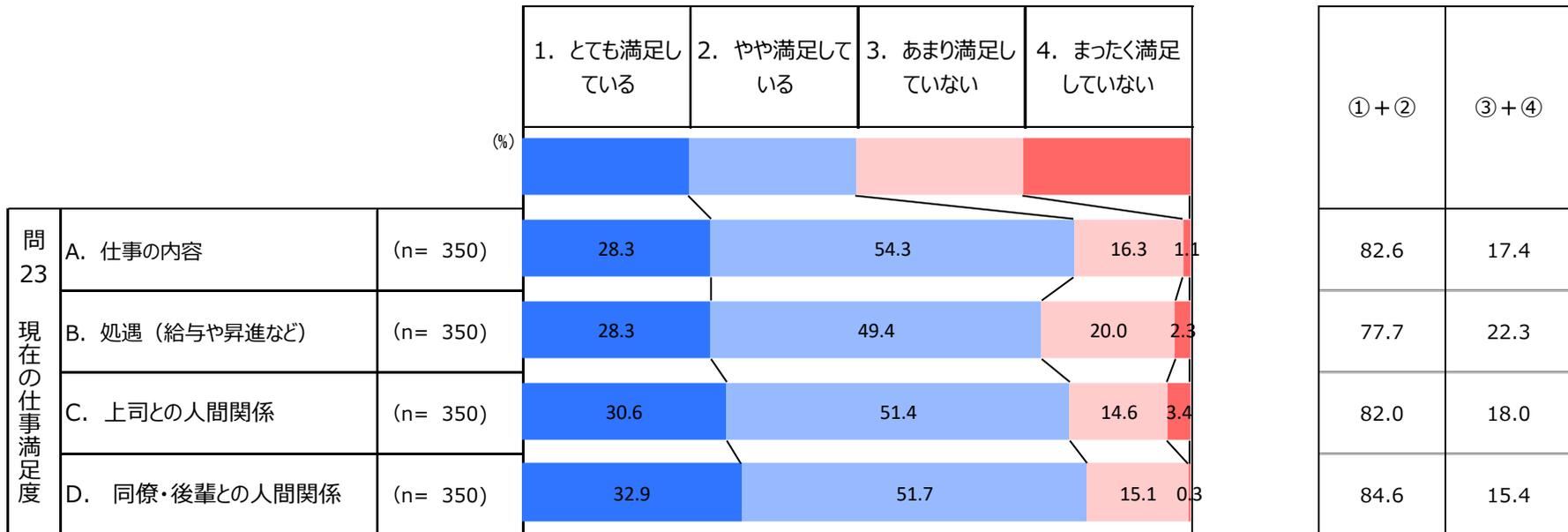
問22-6. 現在の職場・職務について（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問23. 現在の仕事満足度

- ✓ 仕事や職場の満足度（とても満足している+やや満足している）はいずれも8割前後となっており、特に「同僚・後輩との人間関係」の満足度は85%と高い。

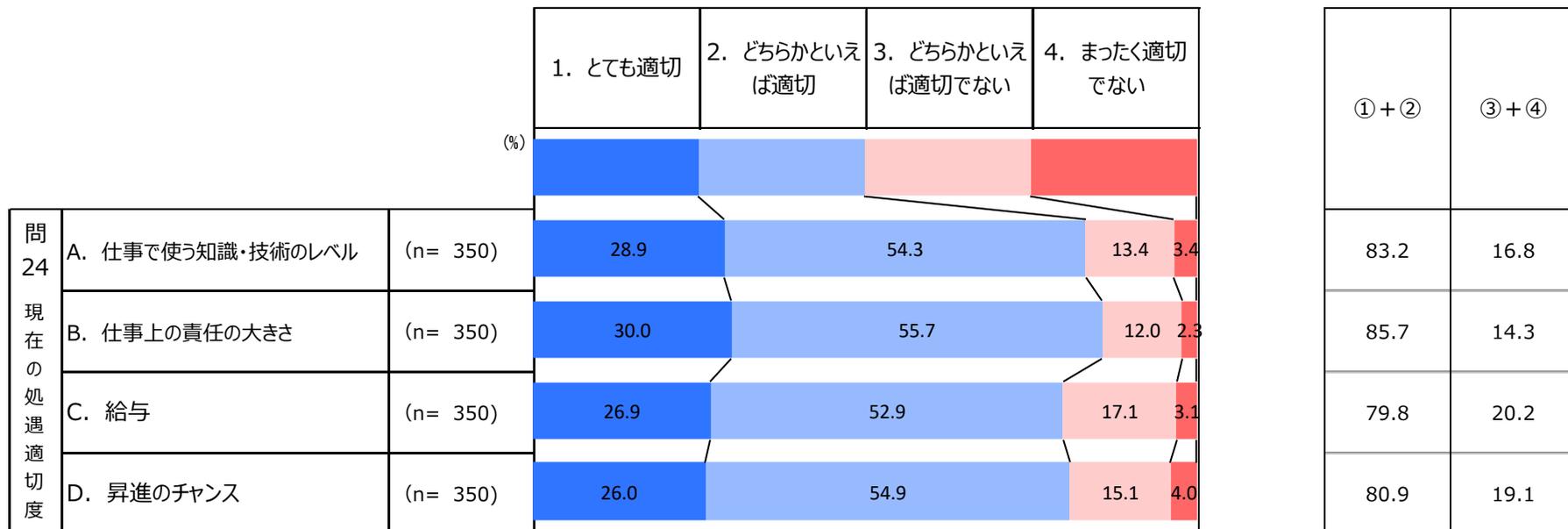
問23. 現在の仕事満足度（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問24. 現在の処遇適切度

- ✓ 処遇の満足度（とても満足している+やや満足している）についても、いずれも8割前後となっており、特に「仕事上の責任の大きさ」の満足度は86%と高い。

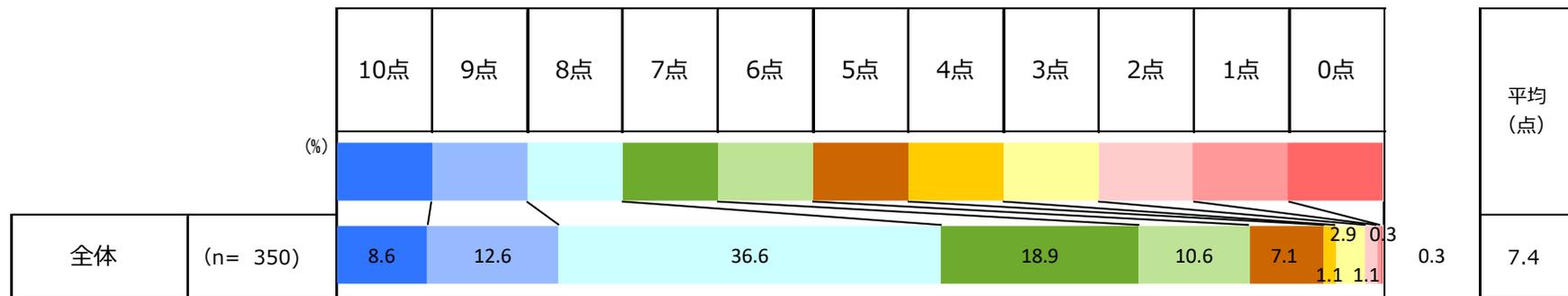
問24. 現在の処遇適切度（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問25. 最近の自身の生活全般にどの程度満足していますか。 (10点満点)

- ✓ 生活全般の満足度は「8点」(37%)と回答した者が最も多く、平均では7.4点となっている。

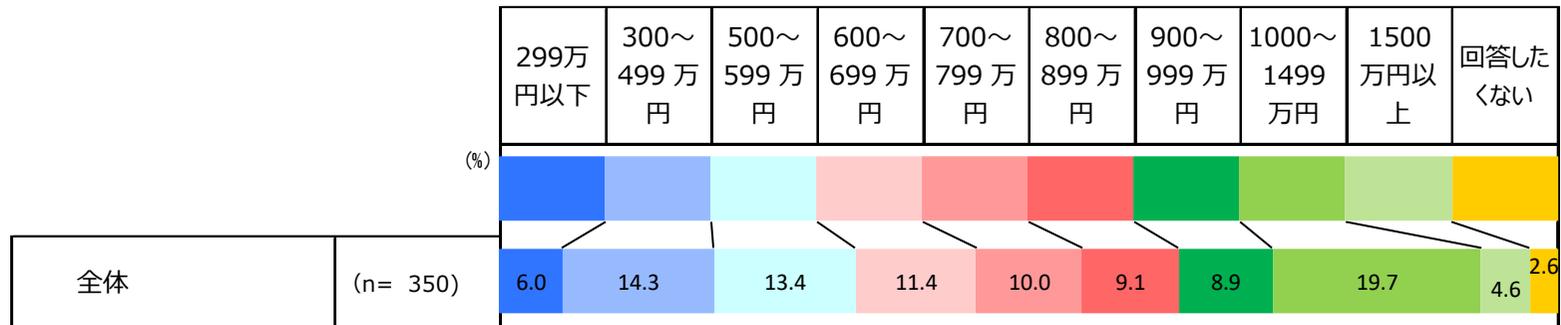
問25. 最近の自身の生活全般にどの程度満足していますか。10点満点（0点～10点）でお答えください
(現在就業中または就業経験がある者／単一回答)



問26. 年収

- ✓ 年収は比較的分散しているが、4人に1人が「1000万円以上」と回答している。

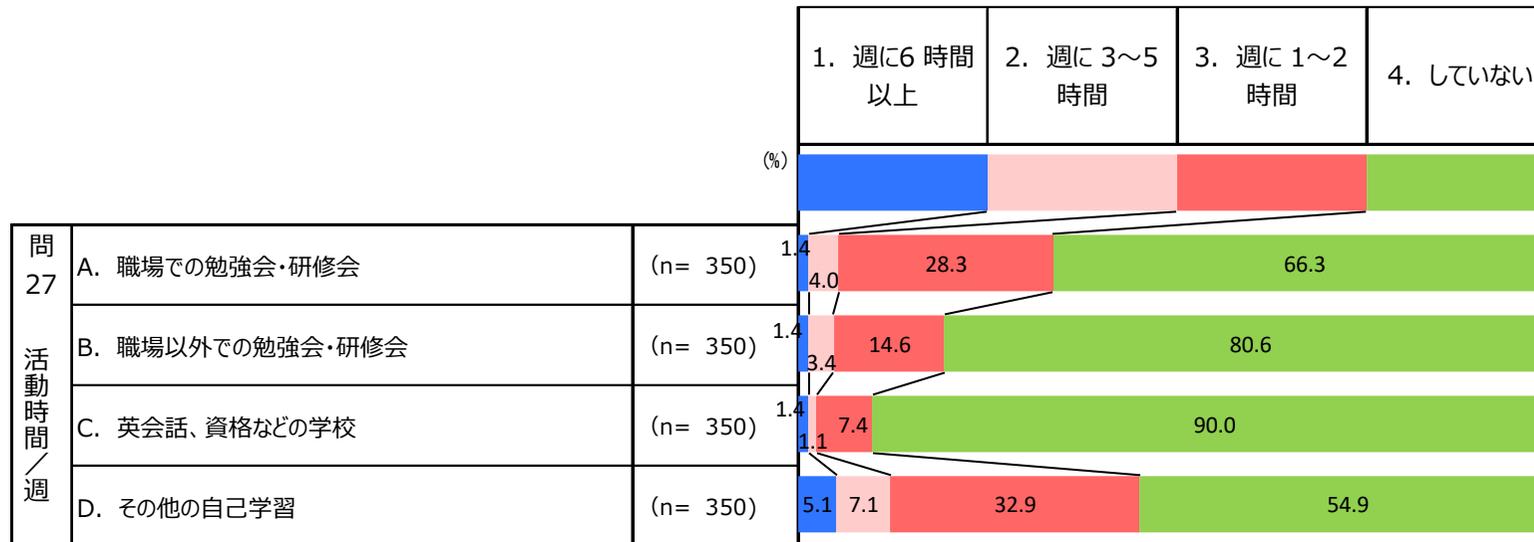
問26. 年収（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問27. 活動時間／週

- ✓ 「職場での勉強会・研修会」の活動率が34%と最も高い。
- ✓ 一方、「英会話、資格などの学校」については、9割の者が「していない」と回答した。

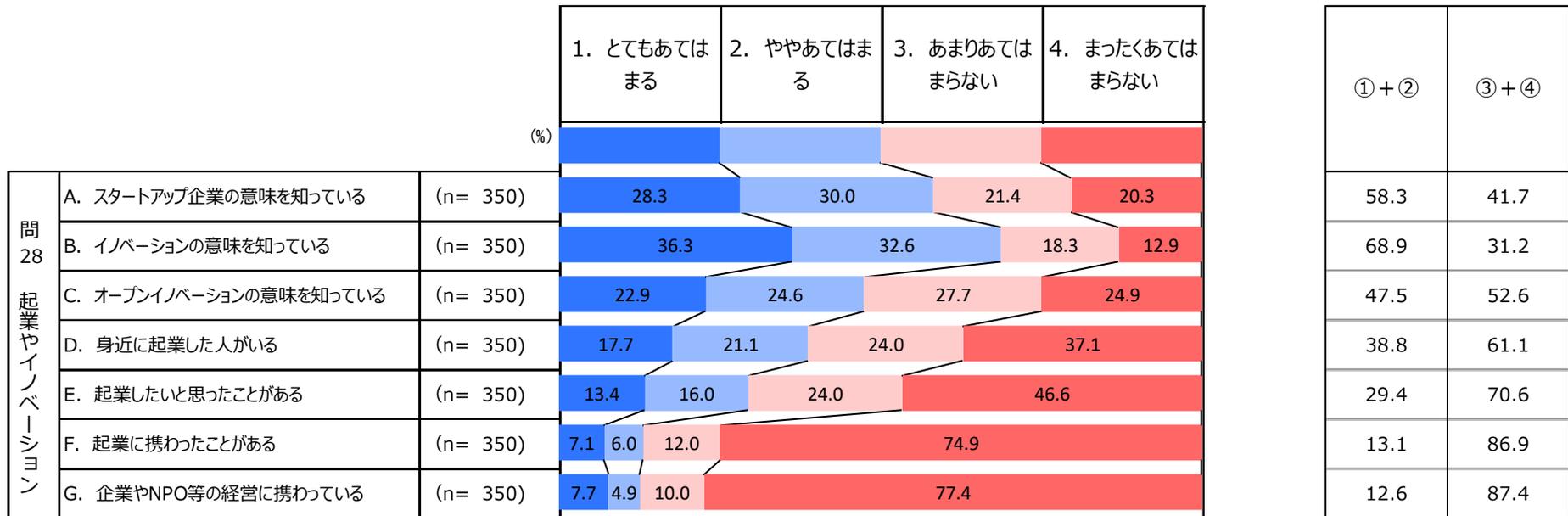
問27. 活動時間／週（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問28. 起業やイノベーション

- ✓ あてはまる・計（とてもあてはまる+ややあてはまる）の割合をみると、「イノベーションの意味を知っている」が69%と最も高く、以下「スタートアップ企業の意味を知っている」（58%）、「オープンイノベーションの意味を知っている」（48%）と続く。
- ✓ また、「起業したいと思ったことがある」は29%となっている。

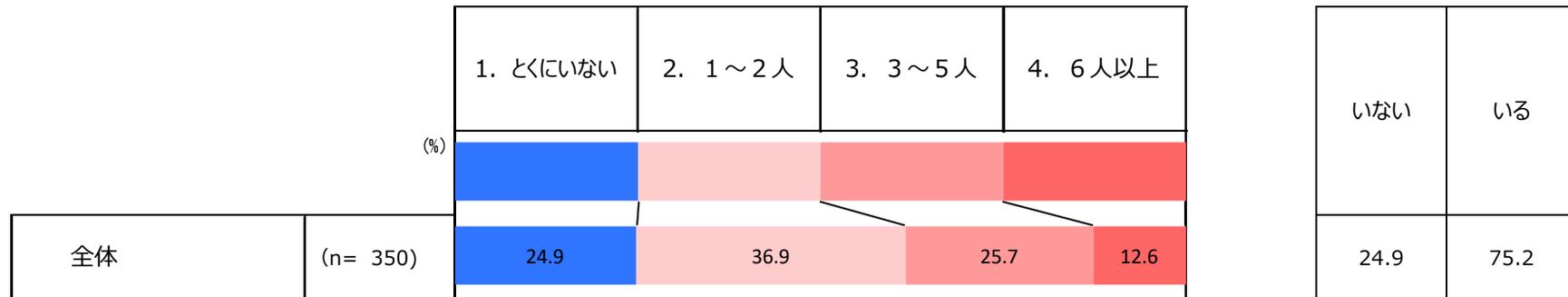
問28. 起業やイノベーション（現在就業中または就業経験がある者／単一回答）



問29. あなたは、仕事上の難しい問題に直面したとき、個人的に相談できる友人がどの程度いますか。

- ✓ 相談できる友人がいると回答した者は75%となっている。
- ✓ 相談できる友人の人数は「1～2人」(37%)が多い。

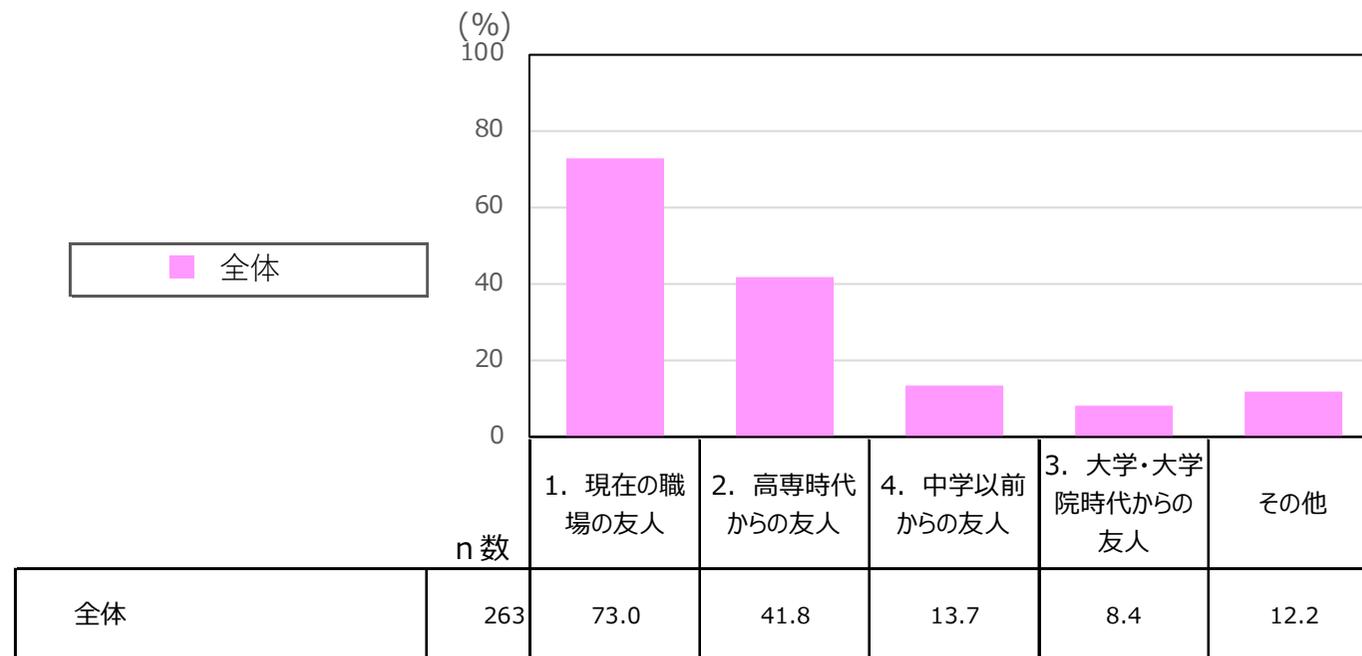
問29. あなたは、仕事上の難しい問題に直面したとき、個人的に相談できる友人がどの程度いますか。
(現在就業中または就業経験がある者／単一回答)



問29-1. その友人はどのような関係にある方ですか

- ✓ 「現在の職場の友人」が73%と最も高く、ついで「高専時代からの友人」（42%）となっている。

問29-1. その友人はどのような関係にある方ですか（仕事の相談ができる友人がいる者／複数回答）

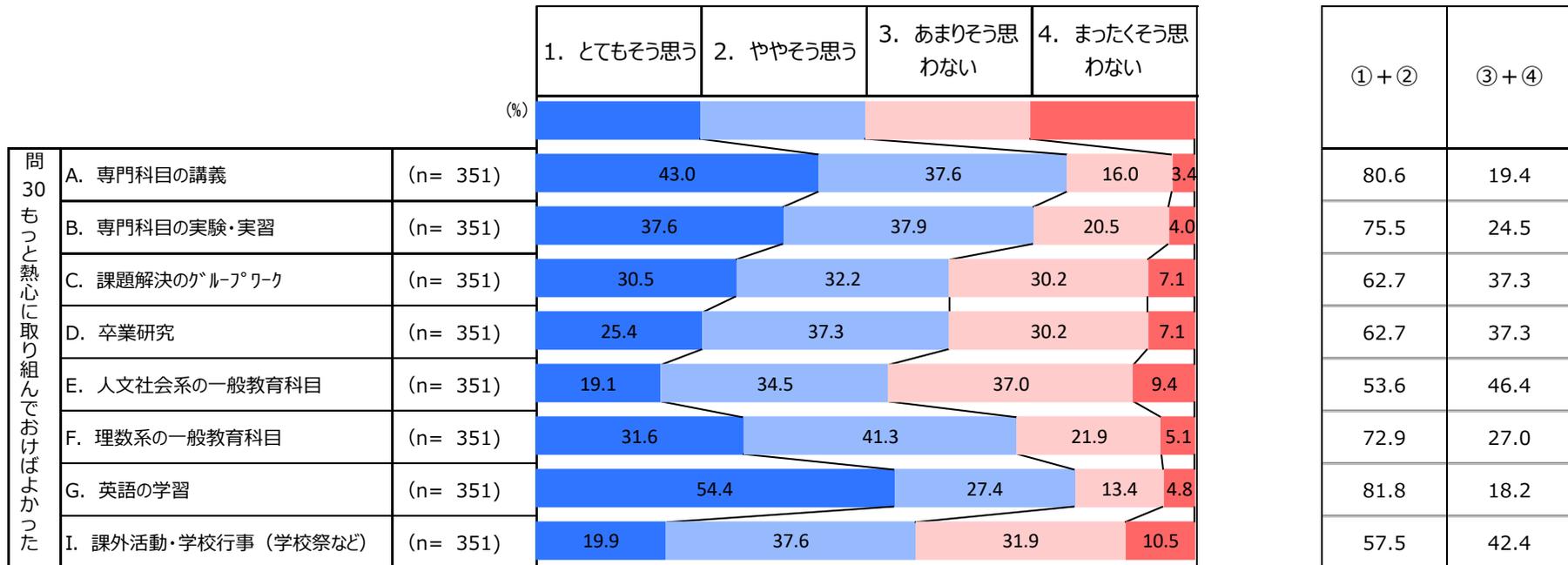


※回答の多い順にソート（「その他」除く）

問30. もっと熱心に取り組んでおけばよかった

- ✓ 「英語の学習」(82%)、「専門科目の講義」(81%)が8割台で高くなっている。
- ✓ これらに「専門科目の実験・実習」(76%)、「理数系の一般教育科目」(73%)と続く。

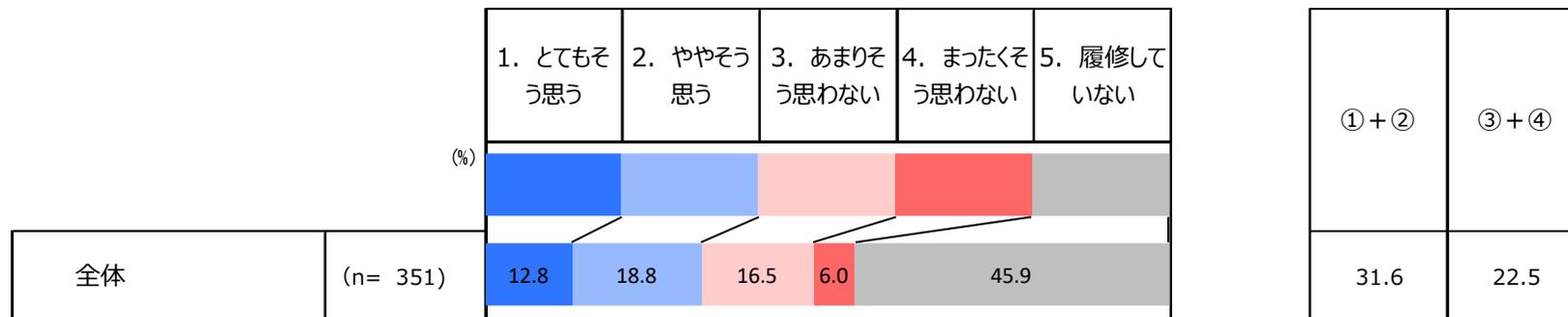
問30. もっと熱心に取り組んでおけばよかった (全体/単一回答)



問30. もっと熱心に取り組んでおけばよかった：H. 学外実習（インターンシップ）

- ✓ 履修した者では、熱心に取り組んでおけばよかったと回答した者が多い。

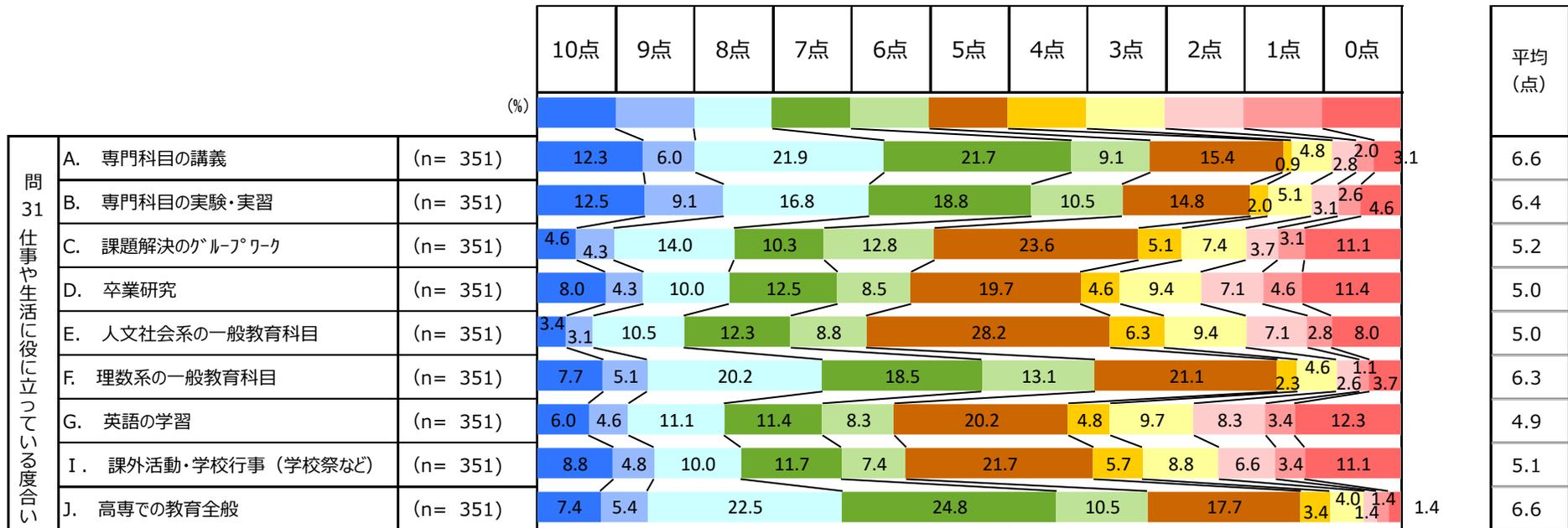
問30. もっと熱心に取り組んでおけばよかった：H. 学外実習（インターンシップ）（全体／単一回答）



問31. 仕事や生活に役に立っている度合い

- ✓ 平均をみると、「専門科目の講義」(6.6点)、「高専での教育全般」(同)、「専門科目の実験・実習」(6.4点)、「理数系の一般教育科目」(6.3点)が上位となっている。

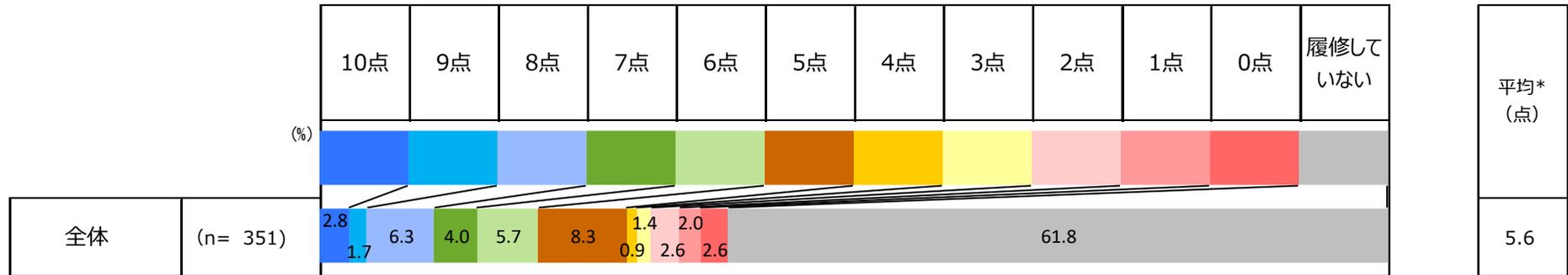
問31. 仕事や生活に役に立っている度合い (全体/単一回答)



問31. 仕事や生活に役に立っている度合い：H. 学外実習（インターンシップ）

✓ 学外実習の役立ち度の平均は5.6点となっている。

問31. 仕事や生活に役に立っている度合い：H. 学外実習（インターンシップ）（全体／単一回答）

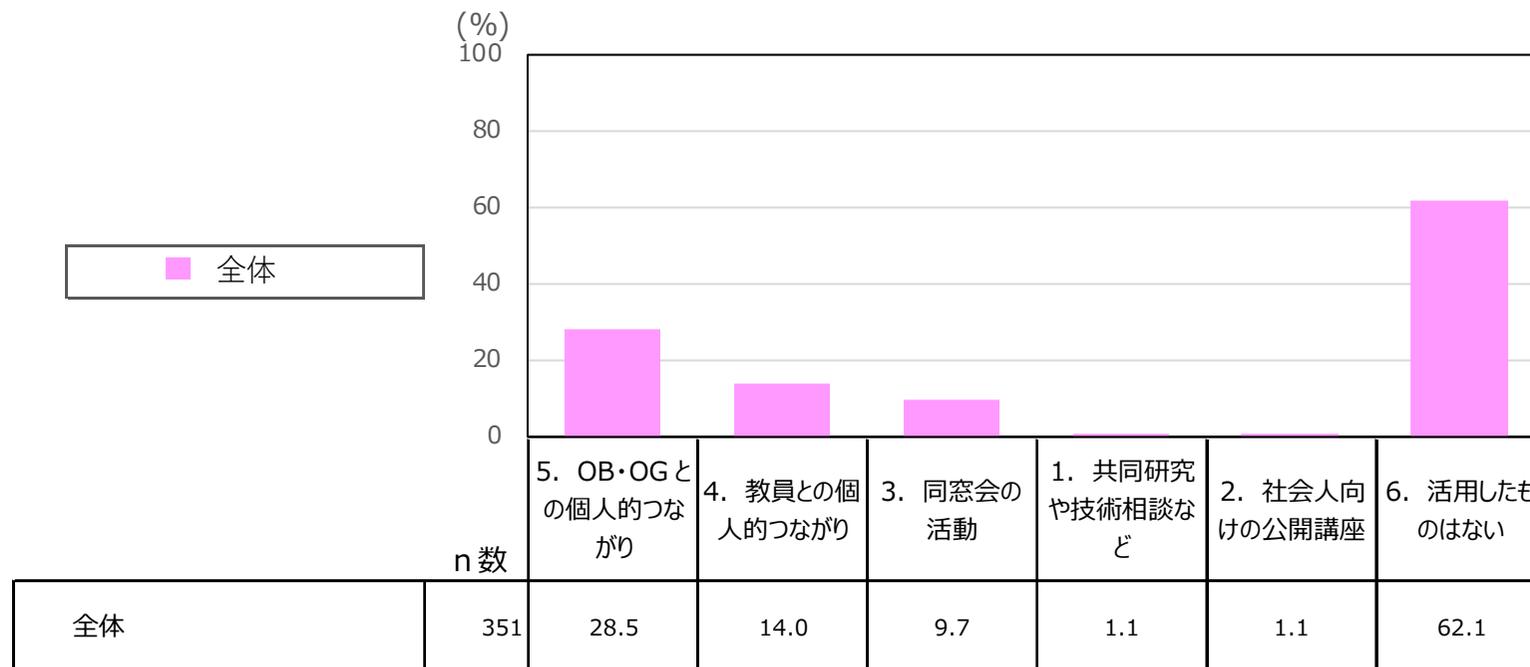


*「履修していない」は除く

問32-1. 高専卒業後これまでに活用したことがあるもの

- ✓ 何らか活用したことがあると回答した者は約4割となっており、具体的には「OB・OGとの個人的つながり」が29%と最も高く、以下「教員との個人的つながり」（14%）、「同窓会の活動」（10%）となっている。

問32-1. 高専卒業後これまでに活用したことがあるもの（全体／複数回答）

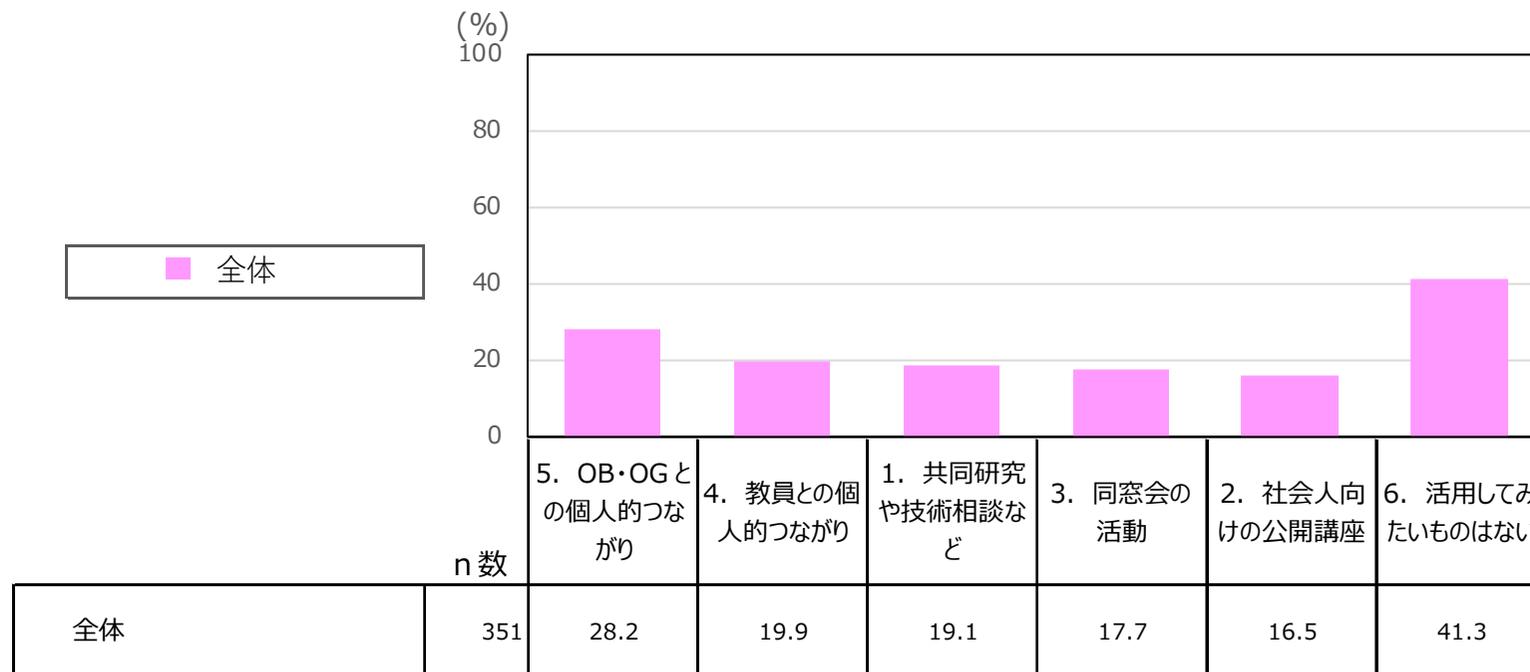


※回答の多い順にソート（「活用したものはない」除く）

問32-2. 今後活用してみたいもの

- ✓ 今後は何らか活用したいがあると回答した者は約6割となっており、具体的には「OB・OGとの個人的つながり」が28%と最も高く、以下「教員との個人的つながり」（20%）、「共同研究や技術相談など」（19%）となっている。

問32-2. 今後活用してみたいもの（全体／複数回答）



※回答の多い順にソート（「活用してみたいものはない」除く）